

特 59

14

馬場文英編輯
三府名所撰案內圖會
大阪之部 全



三府名所
獨案内國會

大阪
之部

凡例

坂府浪華の地、中古以來海内第一等の輻
 湊にして商工の繁榮阡陌の雜沓他の府縣
 比較する所には、嘗て中津島舊諸侯社
 原邸建連之堂島羅羅是價場の賸賑を船
 場豪商の軒列他は類ひなく、此書最も
 三府を以て題すと、いへども短筆を以て盡
 く之を記載する事能はず、唯其位置の
 を掲げたまひ、其處に至り、実地の光景を
 視觀せよ。

一 大流區中を貫く故に市中小三百有餘大小の
 數橋あり、と雖も盡く其橋稱を以て小冊に載
 する事能はず、有名の巨橋奇觀の麗橋は

ふの載せて餘は多く洩らしぬ

一此餘府内郷村區中に有名の社寺旧跡等多くあり
と雖も市街區のこを記載して餘は悉く洩らしぬ
一近世新築の官舎高工會社の建設尚陸續として
枚擧するに遺りなきに因て有名の新築のこを
載せて餘は多く洩らして此を贅せし

一紙毎に名所舊跡神社仏閣の挿画したるを以
皆其實地の寫真を得て復彫してゐるもの也
故に其地に抵り勝景を觀るに異ならずを因て
旅人此小冊を需め懷中せば嚮道を得ざしを
其煩路を審らふに名所旧跡の求由を明瞭
ありしむ

大坂名所獨案内圖會

目錄

○中央之部

高	橋	一丁	船	塔	同		
紫	地	同	屋	橋	同		
佛光寺	掛所	同	神宮教會所	二丁	ナ		
御靈	神社	同	菟布良神社	同	ウ		
本願寺	掛所	同	東水願寺	掛所	三丁	ナ	
座摩	神社	四丁	難波	神社	五丁	ナ	
油掛	地藏	同	心齋	橋	同	ウ	
島の	内	六丁	御津	八幡	神社	同	ウ
三津	寺	同	戎	橋	同		

○東は方

毛	馬	渡	七丁	澤上	江母	恩寺	同		
櫻	野	宮	同	ウ	大	長	寺	同	
川	寄	橋	八丁	ナ	造	幣	局	同	ウ
京	橋	同	天	滿	橋	九丁	ナ		
八	軒	屋	同	天	神	橋	同	ウ	
大	坂	鎮	臺	十丁	上	町	十一丁	ナ	
博	物	館	同	生國魂	神社	行宮	同		

庚申堂	四天王寺	壽法寺	舍利寺	猪飼野嶋の橋	比賣古曾神社	大賢木神社	墨染地蔵	梅屋敷	洞泉寺	觀音院	主夜神社	真田山稻荷神社	御殿谷	空堀町金刀比羅神社	櫻町觀音	玉造稻荷社	鵜森神社	中學	平野町神明社	
十九丁	同	同	同	同	同	同	十六丁	同	同	同	同	同	同	同	同	十三丁	同	十三丁	十二丁	
起願寺	河堀神社	國分寺	御勝山	上社	産湯稻荷	野中觀音堂	宝樹寺	湖符天満宮	御茶屋山豊國神社	三光官	圓珠巷	挑谷地蔵	朝日神明宮	二軒茶屋	龜井水	鑄造場	鑄造場	鑄造場	鑄造場	
同	同	十八丁	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

堀越神社	茶臼山	一心寺	安井神社	新清	大江神社	隆泉寺	北向八幡宮	真言坂	類焼地蔵	○南の方法	櫻町五演劇場	白安寺	金刀比羅神社	日本橋	遊行寺	難波神歲	今宮蛭子社	是齊藥舖	住吉新家	
十九丁	二十丁	同	同	九丁	同	同	同	廿三丁	同	善寺	六四丁	同	同	同	廿六丁	同	同	同	同	
邦福寺	觀音寺	合法社	増井清水	有栖清水	吉祥寺	善道寺觀音	生國魂神社	高津神社	妙法寺老松	善寺	竹林寺	榎木神社	坂町天神	二ツ井戸	長町毘沙門堂	廣田神社	聖天山	天下茶屋	生根神社	
同	同	同	同	同	同	廿二丁	同	同	同	寺	同	廿五丁	同	同	同	廿七丁	同	同	同	同

小町茶屋 廿九丁ウ 難波屋の松同
潮崎霞松原 三丁ヲ 住吉神社 廿八丁ウ

○西南の方

堀江 三十丁ヲ 四ツ 橋同ク
堀江花街 廿一丁ヲ 堀江市の側同
阿弥陀池同 堀江神社同ク
慶帯地藏同 相撲場同
鐵眼寺同 月江院 廿二丁ヲ
難波八坂神社同ウ 津守神社同
木津川口 廿三丁ヲ

○西の方

新町橋 三十三丁 新町郭同
白髪町觀音同ク 惣座 廿四丁ヲ
西長堀材木市場同 松島郭同
驅微病院同ク 松ヶ鼻同
天満神社御旅所同 住吉神社御旅所 廿五丁ヲ
寺島同 天保山同
安治川同ウ 富島破戸場同
高船取締所同 居留地貿易場同
耶蘇教天主堂 廿六丁ヲ 安治川橋同

大坂府廳 廿六丁ウ 雜喉場同
藏嵐魚市場 廿七丁ヲ 廣教寺同

○西北の方

土佐堀西國渡海場 三十八丁ヲ
江戸堀關巡神社 同 柳川豊公神社同ク
控訴裁判所同
高松金刀比羅神社同
書藉館同 師範學校 廿九丁ヲ
模範幼稚園同 病院 院同
製紙場同 紡績所同ク
製藍場同 淨祐寺同
福島上天神社 四丁ヲ 五百羅漢堂同
久安寺同 逆櫓松同
南浦江聖天堂同ウ 毘沙門堂同
円満寺同 極樂寺 四丁ヲ
野田の藤同

○北の家

難波橋 四十丁ウ 豊國神社 四丁ヲ
明治記念標同 始審裁判所同
司藥場同 島同

淀屋	橋	四十三丁	豊川比叅	天	同
北新	地	同	山	八	橋
碎車	場	四十四丁	お	初	天
老松	神	社	同	同	同
神	明	宮	同	法	清
寒山	寺	四十五丁	大	融	寺
稻荷山	園	頭	寺	同	同
東光	院	四十六丁	大	日	寺
源光	寺	同	大	同	同
天	滿	同	天	滿	青
興正	寺	掛	所	同	同
天	滿	天	神	社	同
清	正	公	祠	同	同
天	滿	樋	の	口	木
鶴	滿	寺	同	同	同
中	津	川	同	同	同

大坂の部目録大尾

三府名所類案内圖會卷之四
平安 馬場文英 編輯

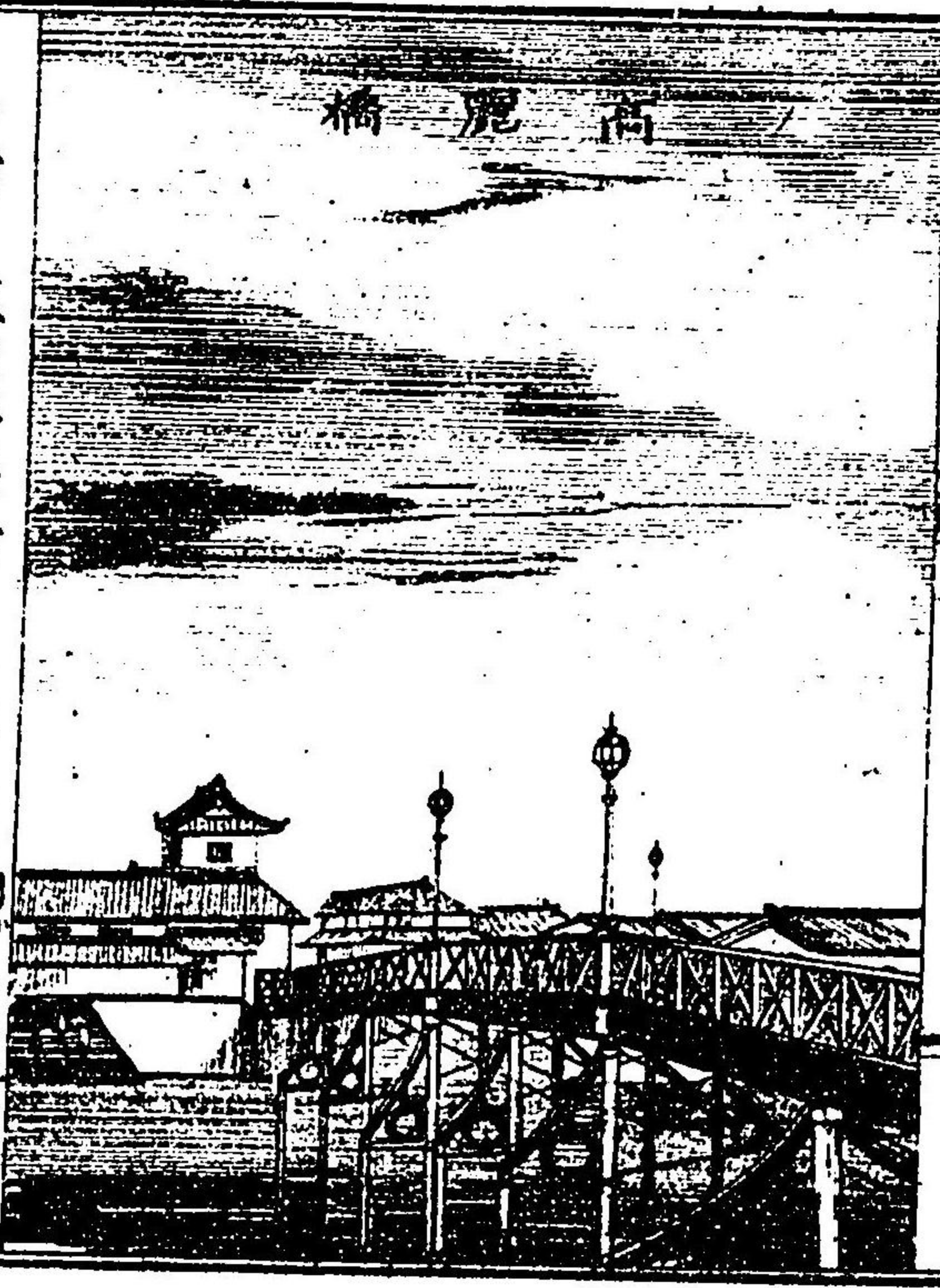
大坂の部

中央松場

○高麗橋 東横堀川架る川上より第三橋目天
正年中豊原秀吉此大坂を築造せり
時東横堀を隔てて城郭の外濠と此所
門を建設は其餘今尚西詰両側の屋根遺
り然るに維新の後官より當分の如く鐵橋
より更造りて総て大坂より諸方及行程を計
る昔より當橋を以て規定とす

○松場 東に東横堀川西に西横堀川南に長堀
川北に土佐堀川大川を以て限せり中市街
地の字也此地より古より有名なる瀧油加島
屋天王寺屋袴屋等の豪富商家多く住居せり
又木町通堀筋心齋橋筋等諸國運輸の豪賈
許多ありて隆盛殿賑はる地なり

○築地 本名蟹島とて松場の東北隅此地の字
なり東横堀川今橋西詰北に百一丘山あり
て是を山の端と稱しが年月を経て平坦の地



とて天明三年新築地を設け蟹島と云ふ其後漸次人家を建列し市街となり繁盛地となり近世有名の割烹旅館多し

○蘆屋橋 東横堀川十三橋の第一にして天明年間蟹島築造の後架り其後文化年間修造の時橋板用ぬい架設せしを大坂市中ノ類する橋なれ故に諸人之を賞し一奇觀とす

○佛光寺料所 平野町通中橋筋のゆり京都真宗本山渋谷山佛光寺別院あり本堂小阿彌陀仏を安す世に知傳御堂と云ふ

○神宮教會所 平野町心齋橋筋の東より伊勢河太神宮に遙拝所あり其傍に説教場を設け例月説教を行ふ

○御靈神社 平野町通五丁目南より祭神天照皇太神宮荒魂八幡太神源正靈神鎌倉権五郎景政の灵之を合祀し社格ハ郷社なり

て大坂市中一萬三千余戸の産土神なり天正の頃此地小龜井能登守の邸ありて其鏡座の神社園御灵又ハ新御灵或ハ五郎祠権五郎殿と俗稱せしあり年々歳々ハ美麗壯觀の神社となりて概社末社等多く造替る近年近ハ

宝城寺と号せし寺院と合併の地なり新の際神仏混淆を廢せしき寺院ハ轉地して社地のよりなり例祭七月十七日夏神事にて行装美々鞍神輿夜所ハ渡御し又秋祭ハ十月十七日を以てす平日よりとも参詣人は絶

間なく社内ハ演劇音曲笑話観物茶店軒連り後門外ハ軍談新講釈の席或ハ割烹煮沽舗等多く有り例月一六日の夜ハ社地及び平野町通り東西七八寸計の間ハ小估客百段の

大坂市ノ

物貨を販ぐ、街上の左右に陳列を參祭此、
往還する事潮の満ちが如く夜闌に至り雜沓
一頭は紫花の観を著す

○菟布良神社 同社地より祭神菟布良彦
神菟布良彦も古く此地に鎮座し菟布
良又ハ圓の名に上古海岸に地名ありて圓江
と云へり曲江は名と難波旧園に見へり
近年近此辺りの町名を津村町と号く是後世
圓を誤ちて津村と稱せり
○本願寺掛所 御堂筋備後町より本町に至り



御堂神社

真宗京都本山本願寺は別院なり世に津村御
堂と稱し天正年間石山御堂焼失の後本願寺
第二世准如上人此地に再興しり所を其初
ハ境内狭少なり元禄年間に至り近隣安
土町渡辺町は民家は地處を五十間計つて西
南に買取れ地を廣く其後享保九年の春
堀江より出火し其火災に罹り堂宇悉く無
土となり其再建の時又本町通の人家地を求
め院地を補ひ二町四面に境内を成り其
より諸堂壯麗に再建しり本堂阿彌陀仏に安
阿彌陀作脇壇あり開山より代々の上人影像
及び聖徳太子と高僧の像九字十字の名号業
を安し二尊堂に宗祖見真大師蓮如上人の
二影を安し轉輪堂對面所鐘樓鼓樓等あり老
若男女常々參詣絶了り
○男山八幡社 安土町通梅榎水筋東より祭
神山城國男山八幡神社同社に昔時男山神
官例歳此處に出張し大神の神體を市中及び
近郷に配達せし處を例祭八月十五日例月
七日十五日廿九日夜市あり

北御堂



○東本願寺樹所 御堂筋北久太郎町通より北
 久宝寺町通小至尾真宗京都本山東本願寺は
 別院あり世々難波御坊又ハ南御堂或ハ裏御
 堂氏稱す文祿年間道修町一町目の地ふ創建
 たり下渡辺御坊と稱せり其後第十二世教如
 上人の時徳川氏より今此地を賜はり莊嚴美
 麗に堂宇造立し二町四面の廣域より水堂
 といふ本尊阿弥陀仏を安置し安阿弥陀の作なり
 脇壇小開山見真大師及び代々上人の影像
 聖徳太子七高僧名號を安じ其餘境内の堂

宇ハ北御堂と同じ本堂は傍小築山より百日
 紅牡丹大樹紅梅映山紅種々の草木を栽境内ふ
 繁茂し近時門外に多く櫻楓樹を植へ四時
 風景を添へ後門に大石を以て造り
 ○座摩神社 同所は西渡辺町より上古神功
 皇后三韓より御凱陣の時船を難波の浦に着
 しゆ休む玉ひし処より後神社となり此時
 皇后の座玉ひし石を神石と稱し是を御旅
 所と祭る後難波小郡後西成郡の社と崇め一
 郡の産土神とある其地ハ大江岸の跡より



當今御旅所此地なり其後天正年間豊臣秀吉
 城を築造の時社を此地へ轉移し社殿を造營
 して今如く壯麗なまなり祭所庄井神福
 井神綱長井神以上三坐井神小波比祇神阿
 須婆神以上二坐ハ竈の神なり都合五柱の神
 を合祀するあり社格ハ府社にして市中六千
 余戸に産土神ニ例祭七月廿二日又秋祭ハ十
 月廿二日こ又搦社田籠神社ハ天照皇大神豊
 受皇大津彦三座を合祀し又神功皇功の神社
 境内小なり其餘搦社末社多く又演劇音曲祭

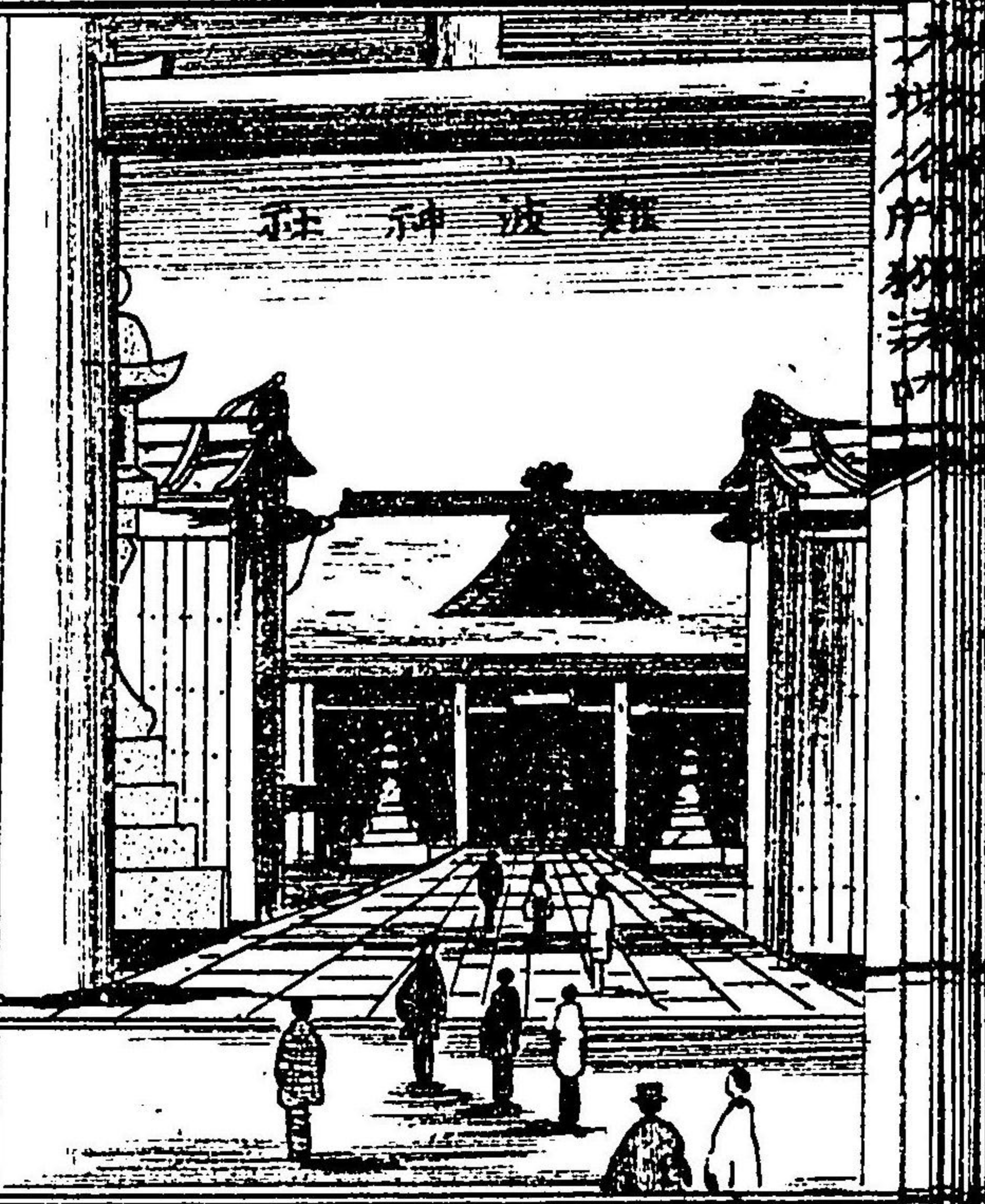


座屋社

話講紙手品の場割烹店茶舗餅店餅估等軒を
 連ね常賑盛なり

難波神社 南久宝寺町御堂筋小なり當社旧
 号を平野神社と稱へ又社地内ニ稻荷神社在
 て泰詣常絶へさゆ故小普く博労町稻荷と
 稱すそゆり八皇十九代友正天皇元年冬詔
 ありて大江坂秋坂社如名生平野郷今平野
 鎮座ありし神社なり其後天正年間豊公城
 を築造の時此地へ移し上難波平野神社と稱
 す上難波古より此地名なり祭神仁徳天皇素
 戔男命倉稻魂神あり社格郷社なり市中一
 万四千餘戸に産土神なり例祭七月廿一日又
 秋祭十月廿一日社殿美觀にして境内ニ攝社
 末社多し常小参詣人多く賑ひ此も演
 劇音曲講紙笑話揚弓射場觀物待合茶屋割烹
 店水茶屋等數ヶ軒軒列す

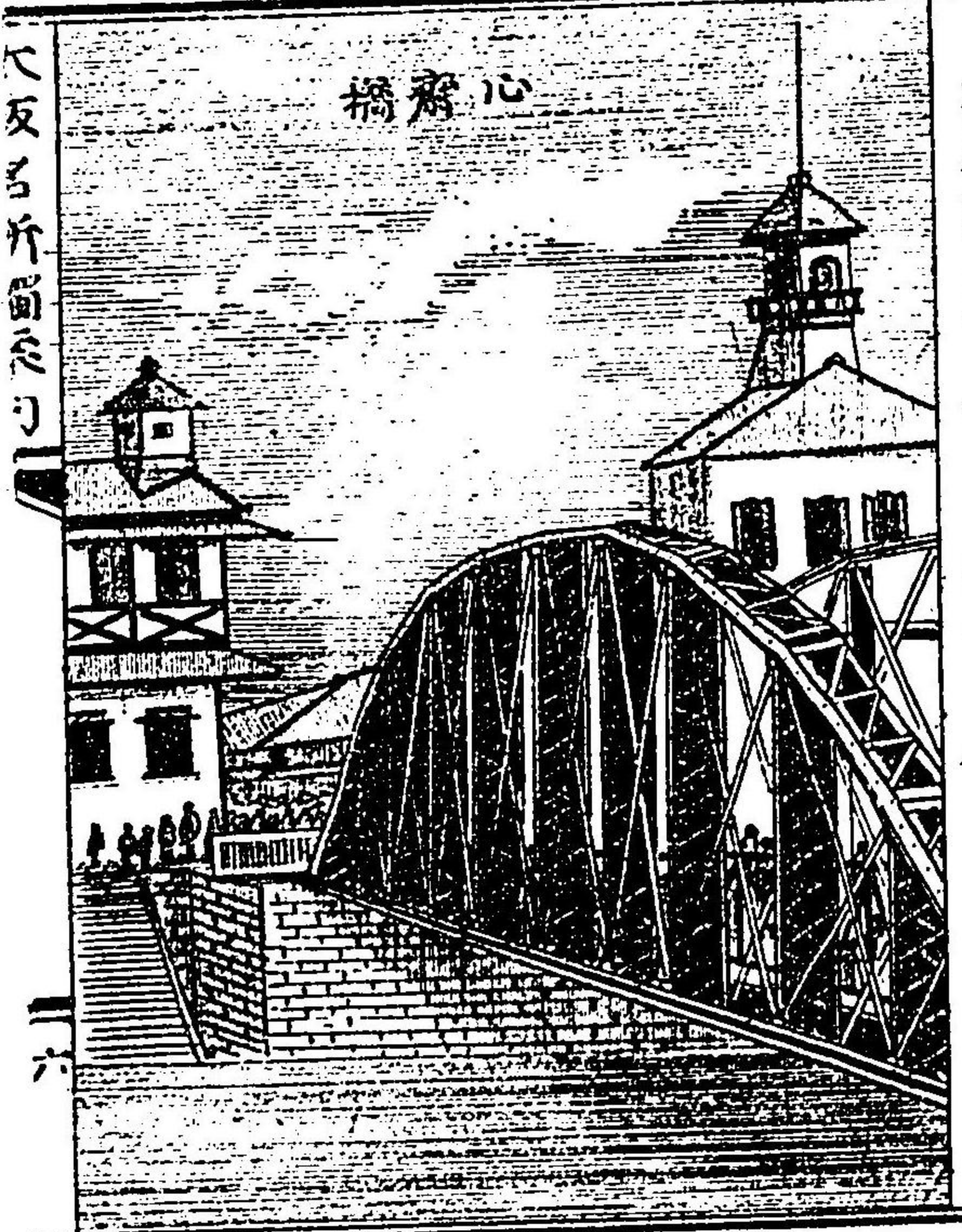
油酒地藏 安堂寺橋通一丁目より往古此
 地ハ安藝寺と云つゝ梵刹あり其寺内ハ安堂
 所の石の地藏尊像なり背面ハ天平十一年安
 藝寺の銘あり此尊像ハ祈誓する者油を酒を



難波神社の御本殿

り故小斯号なるを安曇寺ハ三十七代孝徳帝
 四十七代聖武帝の行幸より大伽藍の地な
 るに後世荒廢して今ハ寺号の遺より其
 きくと誤りて安土寺と稱し猶橋名は造り
 ○心齋橋 長堀川十六橋の中第六ツ目架る
 此橋の南詰ハ島の内にて心齋橋一丁目と稱
 北詰ハ則ち船場不言橋筋四丁目なり以前
 ハ木製の橋あり維新ハ際今の如く鉄製
 奇巧の釣橋を更造し壯觀の名橋となり橋
 の南北ハ駁艇の地なり南ハ道頓堀戎橋ハ

通一北ハ土佐堀南岸に至る此橋筋書籍多
 一其餘諸國の物産百般を販ぐ商舖建連なり
 一ツとして足りざるあり
 ○島の内 東ハ東横堀川西ハ西横堀川南ハ道
 頓堀川を限る此地も等しく四域川を以て島
 の内を字とに中古此地南方ハ遊里に瀝華
 第一ハ花街なり天保末年に至り悉く廢
 せりと諸所へ轉住せしが今又再興して劇場
 旅合席鐵青樓割烹雜餅俳優藝妓の居住多く
 其外諸商百工と船場ハ方らざる繁昌あり



心齋橋

大坂名所圖考

○御津八幡神社 八幡筋西横堀より東二丁の間に八幡町と云ふ祭神應神天皇仲哀天皇比咩大神あり清和天皇貞観二年筑紫宇佐の神を山城國野山に遷座あり時西海より此地に着しめ玉ひよる鐵座を設く社格郷社にして島の内三千余戸の生土神なり橋社といふ所皇大神宮を祀り末社多くあり東南の隅に神石を祭る例祭ハ一月十五日六月十五日秋祭八月十五日なり

○三津寺 三津寺筋心齋橋筋の西より其言宗大福院と号し本堂本尊十一面観音は行基の作脇壇に薬師弘法大師を安に開基は行基菩薩又地藏堂愛染堂大師堂に大樹の棟あり先年雷火にて焼失し今幹の存せり大師巡り願持所小列を以て故小参詣常絶は戎橋道頓堀川筋東より第五小架る鐵橋あり南詰の東に西橋町より西に九郎右工門町と云ふ南五花街の中にて難波新地小續き青樓多ありて賑盛の地あり又南に通る巷街ハ今宮村に至る道筋にて人家連列し又北詰



ハ心齋橋筋二丁目より河岸の東に島の内の花街なり西に旅舎舟宿多く共繁盛の橋上ハ人力車の音昼夜絶え其版賑云らん方なり

○東の方 大川筋の水上に起る東邊を經て坤の方に至る順路を記す

○毛馬渡 東成郡毛馬村にあり同村より淀川を渉り北長柄小至る舟場なり淀川の巨流

○京都の部ハ水源を詳カシキ津上江母恩寺 津上江村小に浄土宗法皇

大坂名所圖考

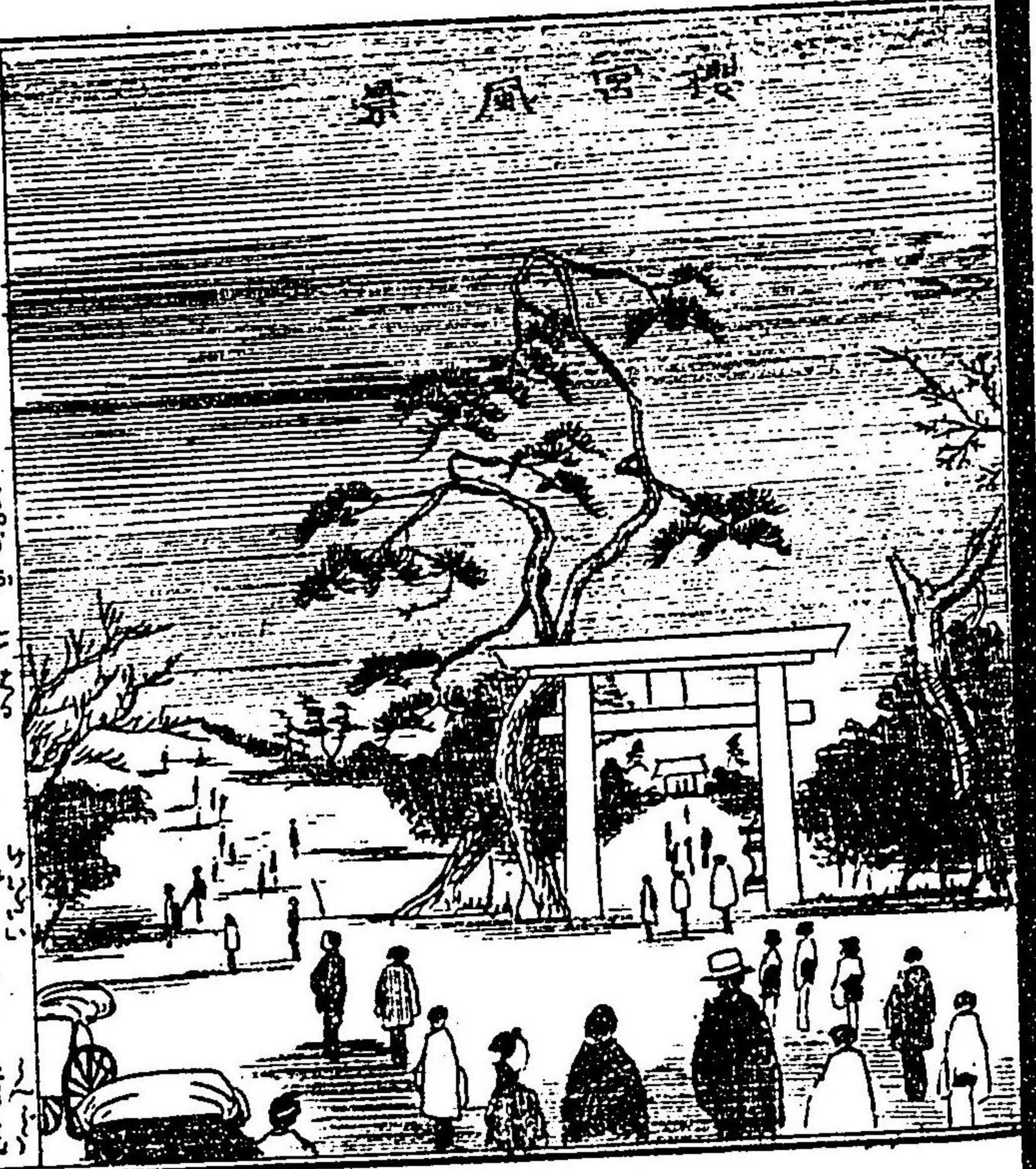
山と号し本尊阿弥陀仏之像志心僧都の作三
像を安じ後白川天皇本願にて御母待賢門院
喜提の為に創建あり所なり

○櫻野宮 東成郡中野村にあり祭神天照皇太
神宮社格御社にて富村の産土神とて末社多
く社頭及び十余町の間櫻樹數株を栽列りね
春李の如く一様満開し頗る美景とて堤上

兩川端より數百の茶店を設け又社前より岩
國屋八百市杯云へる割烹店あり川面より樓
船數多繋連し絃鼓の音誼く陸より人力車
行向貴賤群衆の中を推別け雅俗老若男女雲

霞の如く酒興小乘し戯遊い終日雜沓の酒宴
をなす賑はひ浪花第一等の花遊觀覽の勝地
なり又船小乗り此堤上を眺むる風景類ひ
無き壯觀なり

○大長寺 櫻宮より南三丁計り網島よりあり淨
土宗京都黒谷金戒光明寺末派なり寛文の頃
此里に漁夫淀川にて得たる鯉の鱗より奇文の
り鱗一枚毎に是を埋めし塚境内にあり鯉塚
と云ふ又今も劇場狂言小名残の紙屋治兵



衛と北の新地の娼婦小春と此境内に情死
したる石塔あり又當寺の傍らに鮎宇と云
る割烹の宴席美観ありて大川眺望の景色
最も殊小鯉魚の庖丁練美なり

○川寄橋 大川筋川上より第一小架る此地旧
南岸より天満は地へ渡り船ありて明治十
年官許を得て大橋を架け川寄天満等への通
路便利とて大川筋四大橋の其一なり

○造幣局 川寄橋は東北新川寄町にあり明治二年は造幣局にて大藏省の所轄なり鍍化石造は鎔舎美麗壯活なり烟筒高く聳へ流船三里の上小雲烟鑿鑿々蒸饅沸湯の聲遠き響亮し其域土廣大なり川岸の草樹時々臨みて爛漫し其結構麗色馨み々者なり大坂第一等の壯觀なり

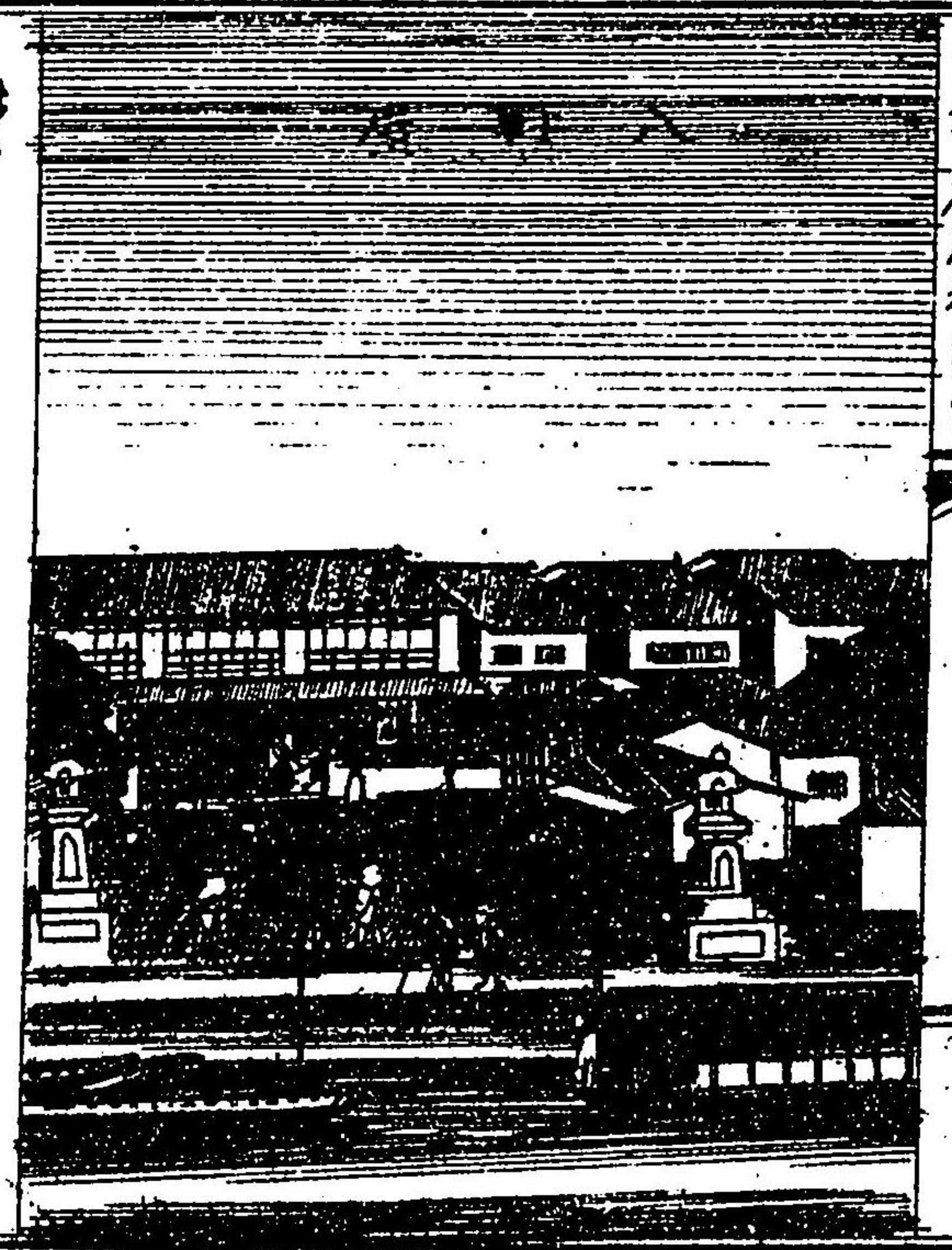
○京橋 旧城の北大川の南寝屋川に架は寝屋川は水源河内國より古大和川猫間川等々合して天満橋の下より大川に入る此橋は



秀吉大坂在城の時架設し所なり故に京橋口は名なり元和の兵燹に焼滅し平定の後徳川氏修造せし元和九年より擬宝珠の鑿に此橋は北詰相生町より野田町を経て淀川は東岸に出入る是京都へは東街道なり

○天満橋 大川筋北より第二に架る大川四六橋の其一は南詰の地に京橋二丁目と谷町筋より南天王寺に通じ北詰は天満橋通一丁目にして北は長柄村に至り此橋は新に後修造し際小橋の半より東へ通るは新道を築き備前島への捷路と故に橋は長短二梁あり

○八軒屋 天満橋の南詰西二丁目許に在り豊臣秀吉大坂在城の時市街となり淀川着岸の地にて其頃舟宿僅か八軒有るを以て八軒屋と字せしより今に至り言傳へ事とハなりぬ其後年々舟宿敷殖して當今如く繁昌は地といはれり京都への通船伏見に至り往還の川流船三十石は昼船夜船朝舟今井船等出沒の旅客終日終夜断絶の間は繁榮殷盛の



○天神橋 大川筋川上より第三の架る四大橋の中其魁の木造の大橋にて長サ一百廿二間三尺幅三間欄軒處々小瓦斯燈を建南詰ハ京橋三町目より直南に通じ、街ハ松屋町筋ト其南ハ天王寺村小接して人家列り北詰ハ天満の地にて十町目筋と称し北に通じ、所ハ西成郡長柄村小至り南北通街の行程二里許市屋連軒ノ諸買百工屋夜繁昌の地なり故小橋上と曉より深更小及ぶ迄往返の運輸



絶隙を繋ぎ第一の名橋あり
蓋し大坂四大橋ハ川崎橋天満橋天神橋難波橋此四ツを云ふ

○大坂鎮臺 旧大坂城をもち當鎮臺ハ陸軍省所轄内國六鎮臺の内第四軍管ちて大坂府京都府兵庫縣滋賀縣三重縣和歌山縣岡山縣島根縣鳥取縣等二府七縣の惣轄トシ其府縣下より徴兵を募り常備兵六千七百人を以て護衛トシ本官ハ旧城中ニ分營ハ其近傍所々小設く蓋し大坂旧城の地ハ要害堅固小

して石山本願寺の旧址に織田信長數年本願寺と合戦不及いし。比竟小克こと能いことを以て信長教を禁して本願寺を退轉せしめし。野野の地より故小豊臣秀吉其旧址を築用して天正十八年城を築く。秀吉死して息秀頼在城と元和の役小落城。徳川氏覇府を開東小起。番城とれ。慶應四年徳川慶喜政權を返上して此小入城。天明治元年正月慶喜逐りて東歸する際小城中盡く焼滅を維新の後其旧址小又鐘堂を置る



大坂城大時

○上町 東横堀川より東に地を称す東小旧城を限り南に高津神社の辺小至り北に大河の南岸を城り上町と云ふ其中は市街の字なり此間の地は船場小地より最大なり工商共多く居住す往昔仁徳帝の皇居大江岸小坂大江坂等は旧地と皆此城小属す

○博物場 東横堀木町橋東諸北小あり諸内巨廣小を海内の奇物珍品旧名は墨新古製し器品新發明の器械奇巧品及び支那製米海外諸列の物産珍奇室物を集め或は商品を陳列し室外小に四時花草を栽へ或は禽獸を集め畜ひ又寛永鑄造上町の古鐘京橋青銅の模宝珠東兵の手水鉢往古の舟等小園中小居て常備品とい大會は例月三月十五日開場小を一百日の間衆庶遊覽せしむ

○生國魂神社行宮 本町橋東詰一町南小に舊地旧中之島小在り以本年此小遷り祭せり社地廣くして茶店杯多く前門の外に松屋町通小して昼夜共小賑ひ又後門は邊小に小松嶋と云へる女陣連軒して町藝妓待合茶屋社



博 物 館

類数多し

○平野町神明社 内平野町通松屋町筋の東に
 ありて祭神天照皇太神八咫太神春日大神三社
 の神を合祀す社頭小杉社多し例歳七月九
 月兩度ふりり當社の旧号は濱津王子祠又渡
 辺王子祠と稱し座敷神社旧地の東にありし
 と後此地小遷りぬ例月一六廿夜ハ夜市あり
 と最賑

○鑄造場 旧城の北畠野口より大砲小銃其
 他鋼鐵の諸器を鑄造製作する官立職工場也

○中學校 旧城の西大手筋の北にありて文部省
 の所轄の小学校教員小學上等卒業の生
 徒に授業をせむを學校けり

○玉造 大坂上町より市中續き東成郡に
 属す此地ハ神代の時玉屋命始め玉を作
 給ふ地也を以て玉作の郷としくり古ハ
 玉造の江玉造岸玉造川今平野町川也等
 名所ありて和歌の詠多しり中古豊臣氏
 在城の時此地繁昌し市街して遊所ありし
 今の新町筋九軒町と旧此地に在りしを



中 學 校

大坂名所

地さす所也又唐 糸一編打小用か

繩を名産とて高ぶ家多し

○龍森神社

東成郡五造村の中森町より世の人森の官と稱し所祭用明天皇間人皇居たり聖徳太子御父母皇は為し創建せり所也推古天皇六年新羅國より奉り龍二羽を難波の村に養ひし故に龍森と名けり社格は村社なり此地は産土神とて未社多し聖徳太子社も有り當地小毛口汁を名物とす料理茶屋有り又此社地小蓮如新松より木願寺八世蓮如上人此松に下り座し一宗海内小弘通し人事を當社小祈願有り旧跡なり其松大樹とあり今も存す

○龜井水

同所東に邊小あり此泉は田圃に内森に中より此水を汲取て龍森神官の家小浴湯と沸し諸人小入湯なるとも諸病小功驗ありと云

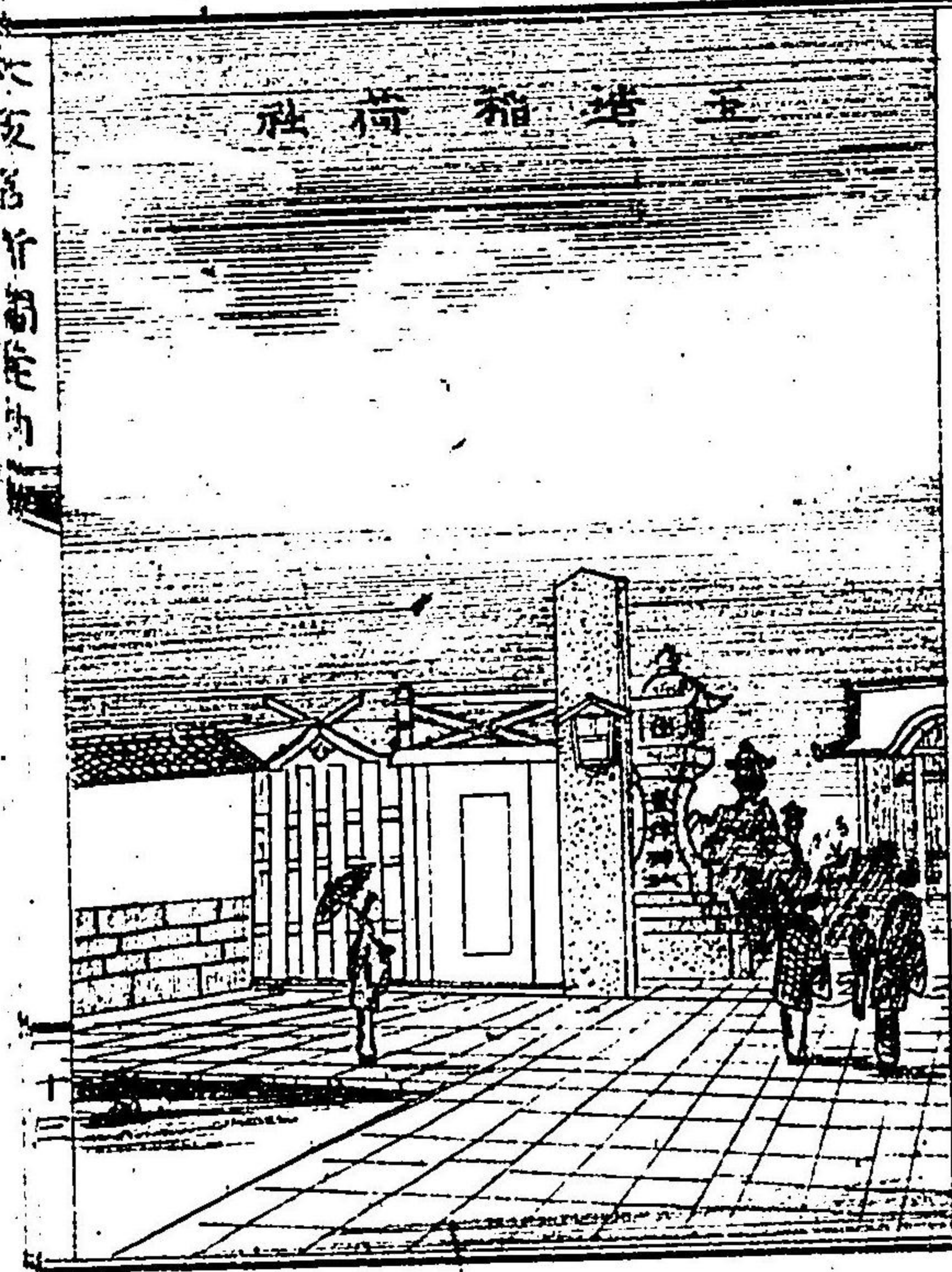
此辺総て昔ハ四天王寺に旧跡なり崇峻天皇二年七月聖徳太子伽藍を此地小創建しり逆浪島陀堂宇を破壊せり依て今の地小

移し再大伽藍建立有り其時大門堂塔の跡田圃の宇に遺せり此地小四天王寺在り事僅二十五年間なりと云ふ

○五造稻荷社

五造半入町より豊津神社と稱し祭神倉稻魂神下照媛神稚日女神月讀神阿遲突智神五座を合祀し垂仁天皇十八年創建天正年間石山の兵火小罹り社殿灰燼す慶長八年秀吉再建有り復元和に役小父上十寛永八年徳川氏復造營あきて豊御食津社神社と更しむ社格御社なり此地二千餘戸の

五造稻荷社

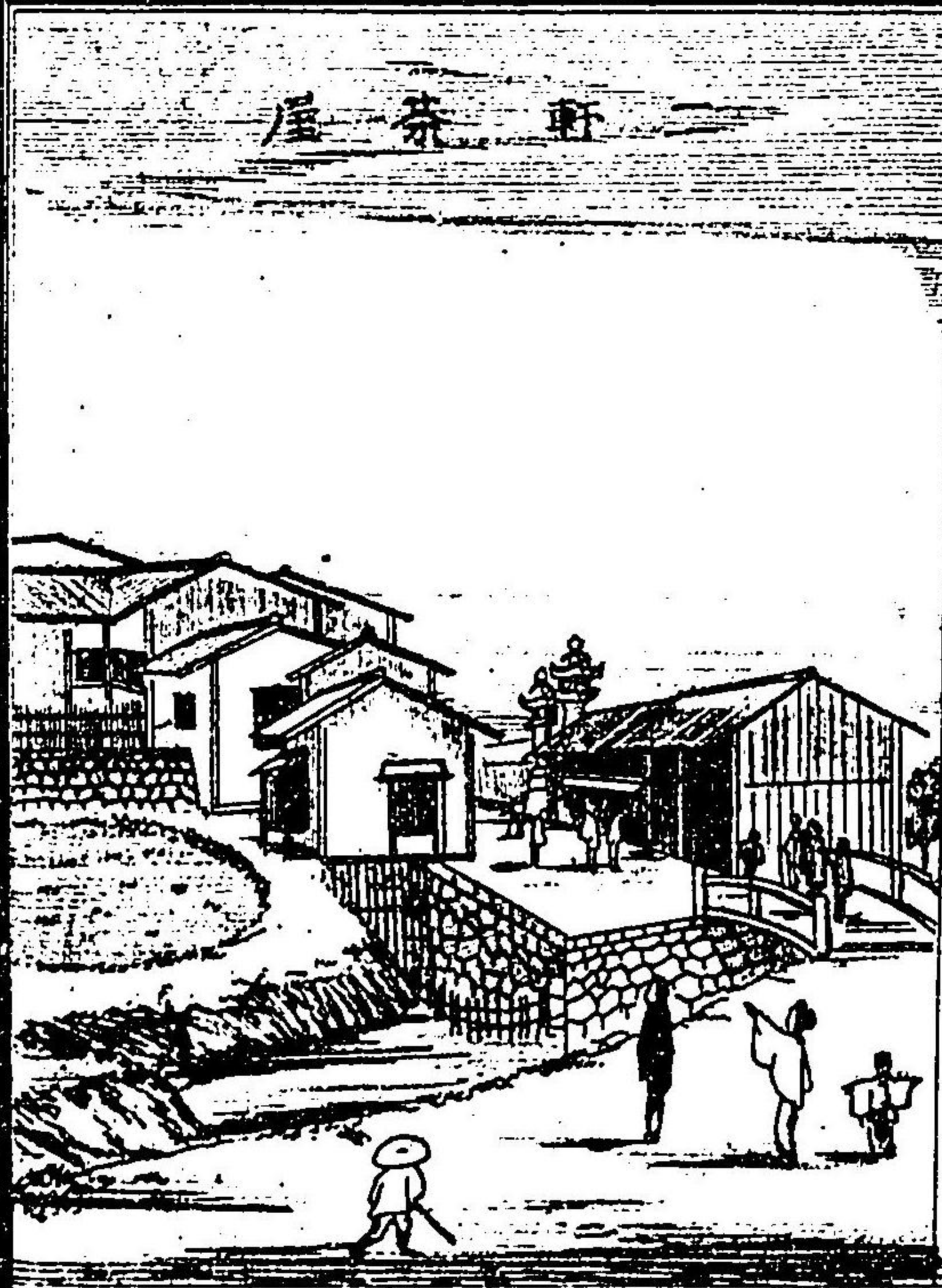


大坂名所

生土神なり末社多く例祭七月廿日夏祭
九月十五日なり二月初午日ハ諸人多し

○二軒茶屋 玉造稻荷社の東南小向東雲町
と接し中道村ハ西側ハ相對し茶店を斯
く号く河内ハ邑里を距へて掠り峠小至り大
和國奈良小達す街道ナリ常ハ往還繁ク人
力車ハ立場トナシ故ハ其名著シ

○櫻町観音 内安堂寺町通一丁目小向ハ櫻町
と稱す旧ハ旧町名ナリ此所ハ宝泉寺ト云ハ
梵宇ハ本尊聖徳太子の作聖観音を安じ此像



初めハ四天王寺西門の外引群堂の南ハ太子
の乳人女僧トナリ庵を結ひて尊僧々崇敬ス
然ルハ齋霜を歴て其庵荒廢一此所ハ遷
再興あり利益深クトて参詣多し例月八日十

八日廿八日ハ夜市ナリ

○朝日神明宮 骨屋町筋内安堂寺町通一丁北
小向ハ祭神天照皇大神倭比賣尊を合祀と堂
社往古ト難波小鎮座の神社トて旧号を坂
口王子の社ト号シ

○空堀町金刀比羅神社 朝日神明社東南ハ
昔時トて此処ハ鎮座ナ例月九月十日諸人
多し又夜市ハ賑ハ

此辺ハ地形総て凸凹あり是旧城羅郭の空堀
跡ナリ慶長十九年冬陣東西一端和睦ハ時埋
めナリ市北ハ所を瓦屋町ト稱ハ瓦工多ク
居ハ殿及ヒ陶器を製出シ

○桃谷地藏 空堀町東桃谷小向ハ小堂の内
小地藏尊像を安じ腰壇ハ紀伊國九度山子安
地藏如意観音を安シ

○御殿谷 右同所の東ハあり上古仁徳帝行宮

大坂伊丹郡梅屋敷

此の地なる事地名も残り

○御祭屋山豊國神社 右同所の東吉石工門所
煎地小石を五造東雲町の南なり豊國秀吉茶
室の旧跡小石敷公の社殿を修造す
神宮松下兵衛公の社殿を修造す

○真田山稻荷神社 同所は東南小石なり祭神仁
徳天皇八幡大神稲生小石楓山神社と云ふ社
格村社此地二百餘戸は産土神小石二月六月

十一月と例年三ヶ度祭礼は慶長元和の役
小城將真田左工門尉豊村若を築き小石處
て真田丸と稱せし旧跡も社地一帯の丘山
にて眼下小石河諸村を近眺し東小石生駒原
嶺は連峯を造望し光景著し茶店小石鱈汁を
販ひて是を名物とい

○三光宮 同社地丘の上小石と陸前國宮城郡
青森小鎮座三柱の神を遷し祀るなり此神を
崇信する者一生中風の病難を免るると言ふ
て歩を運ぶ者多し

○主夜神社 西成郡吉石工門煎地小石を成
道寺と号く寺の境内小祭る婆娑婆院主夜

神なり盜難を守護すといと參詣絶断なく守
贖を受る者多し

○圓珠庵 右同所北西方東高津村中餌蓋町小
石契沖阿開梨の遺跡なり師小和漢は字小
通し博洽は智識小て國風諷歌不凡數篇
の書を著す事普く人の知る所なり晚年今里
妙法寺より此所小退隱し元録十四年行歳
六十二にて寂す庭中小碑石なり此鏡守小鏡
八幡の宮なり小祠小て其傍神木なり祈願成
就する者此木小鏡を打込む其數夥し

梅屋敷



大坂伊丹郡梅屋敷

此坊名所

○観音院魔但利神祠

右同所南向小祠

宗本堂小、魔但利神を祭る、悪病除の神なり、と
堂は傍に、魔但利神を祭る、悪病除の神なり、と
近時奉詣多し

○潮待天満宮

鉾差町西上塩屋町小あり、天然
寺と云へる、院内小、巻込菅公筑紫へ左遷し時

○洞泉寺

小、七基筋小、浄土宗小、庭に
数百種の菊を培養し、秋小至き、花壇

○寶樹寺

洞泉寺の西南上本町通小あり、時蓮
宗の女僧寺小、林泉風樹数株あり、紅葉の頃

○梅屋敷

宝珠寺の南より、東京の梅屋敷を
模し、園中数株の榎樹、四季に草木を植へ、列ね

○野中観音堂

宝珠寺の東野中の丘上小あり

○靈游地藏尊

野中観音の門前小あり、小堂の
内小、安土石像あり、祈願の者盛に、西より入

○産湯給荷

西小橋村小あり、祭神豊受大神大
己貴神少彦名神三座なり、六月九日、神事あり、

○又二月初五日

祭詣多し、又社前小、清泉あり、上

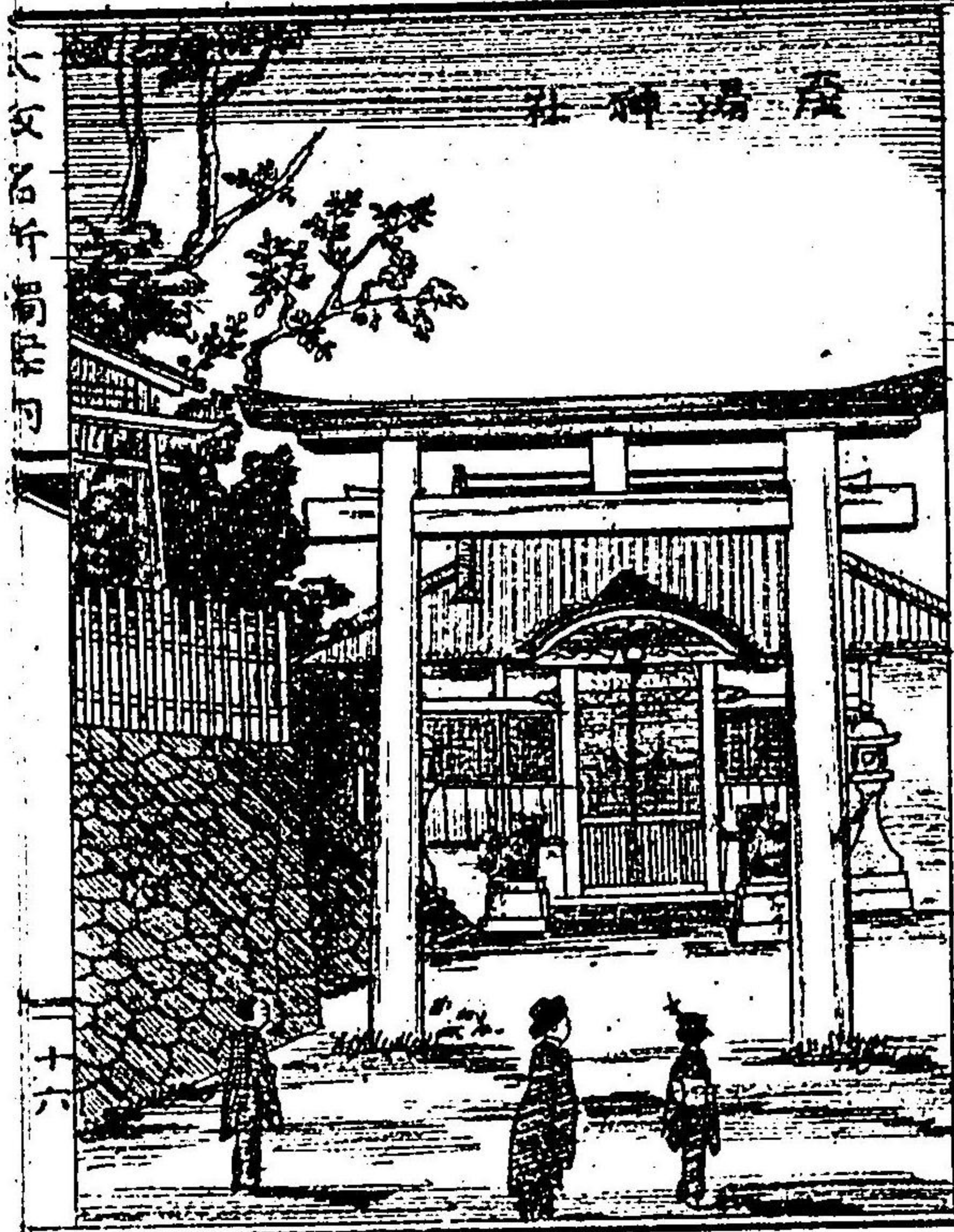
○遊明院

号木尊十一面観音、行基菩薩に
作り、脇壇あり、不動毘沙門を安じ、此観音は

○悪七共工景清

守水尊なり、旧日向國小在り、
故有て、近江國三井寺小、近し、後又當寺小、移轉

○小



産湯給荷

又二月初五日

大城名所

古大小橋命天照屋産湯小用ひ清水小
今水濁り事なく溢れ流る又此社に傍り味
原池と云ふ旧名比賣古曾神御池と称す
世人産湯神社の傍り有を以て産湯溜池と云
ふ此池古よりの大池あり近年周圍を高
地サササ

○大賢木神社 右同社傍り丘上より祭神天照
太神比賣古曾神を合祀十上古比賣古曾の社
地より賢木殿は旧跡也又此丘を法藏山と
号す孝徳天皇此処小僧尼を集めて讀經す

桃園花盛園



○桃園 此辺北は五造より南は天王寺村迄は
間一円の桃園ありて甚盛は頃ハ衆人群集し
遊観小末る者瓢を携へ行厨を脊負ハ也蝙蝠
今公翳一車夫小引りて園中に入り巷上
ハ影多茶店を設け田樂を焼く精魚を割烹し
或ハ艾葉を賣り少女摘草を販く童子は観
客所階小立ち燎城の裙花小混下天と酔る光
景他小類シ

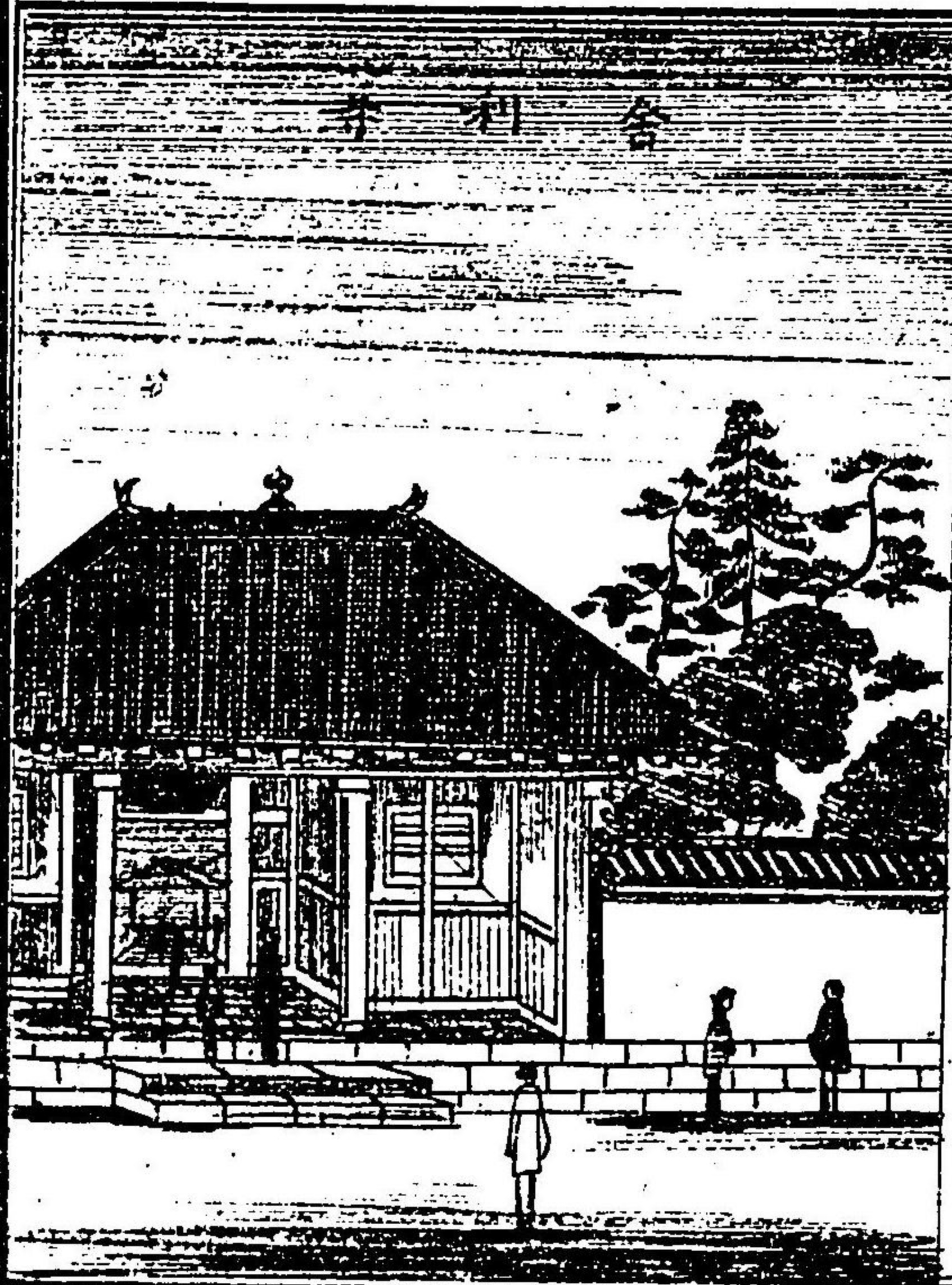
○比賣古曾神社 産湯社の東小橋村小に祭
神大己貴神の御女也當社此地小鎮座有る事
詳りなきは清和天皇貞観元年從四位
を授け給ふ事あり住古より荒廢數度及い
後年足利義晴社殿を嚴小造營りて天正
年間石山は兵火小罹り灰燼となす今社ハ
村老建て祀せり杜格府社小して小橋村の産
土神なり

○上宮 同南西の方天王寺村小に所祭欽
明天皇也此辺の産土神とし社頭末社あり文
藝を多く栽り花盛は頃ハ美觀なり

○猪飼野鶴の橋 同東猪飼村の口平野川に架
了古名猪飼津橋と称す仁徳天皇十四年初て
架設し是難波の地小橋梁を作るとは最初なり
橋下を流る川は百濟川と称し今は平野川
の旧名なり

○御勝山 岡村に南にあり丘を云ふ旧名間山
也元和の亂に徳川秀忠陣営として勝利を得
るに故に祝して号しなり

○舍利寺 同南舍利寺村にあり南岳山と号し
黄檗派の禪刹なり推古天皇廿一年聖徳太子



の創建なり暹羅を経て荒廢せし仁徳川氏黃
檗木庵和尚此地を賜り木庵中興し堂宇再
建せし又破壞し及ぶに及ばず近爾真淵和
尚住し市中を勸化して諸堂を修葺し假山を
築けり三所観音の石像を建壯觀の梵刹とな
せり

○國分寺 舍利寺の西國分寺村にあり天徳寺
と号す黄檗派本尊觀世音

○壽法寺 天王寺東門外一町北にあり浄土宗
本堂の前大樹の毎絲樓に花盛ふ艶麗
く庭前には榊木夥多り秋は比ハ景色最上

○河堀神社 天王寺東門に東南にあり祭神崇
神天皇也村社として産土神と此地ハ河堀口
と稱し大和河内へ往還の街道なれば旅人の
通行間斷なく例年大峯山上へ詣り輩送別の
場所とす

○四天王寺 東成郡天王寺村にあり荒陵山故
田院と号し聖徳太子の草創佛法最初八宗兼
学の大伽藍魏々壯觀の精舎は金堂如意輪
観音を安置し講堂阿彌陀勢至觀音虚空藏を安



十五重塔二玉門中門并戸樓青龍池南大門太子堂鐘樓石舞臺宝庫納骨堂喫茶所石鳥居西門の前小建る此外堂宇多し異之法筵年中夥多し四時奈詣断絶せず春秋彼岸會聖靈會千日詣寺ハ諸人群集し又近時公園地とありて櫻樹數株を處々小栽一花の頃ハ風景平生小増一美觀なり

○超願寺 天王寺南門の外より往古ハ土塔

の旧跡にて聖徳太子履且より來船せし經文鳥有の災を畏れ此地小土塔を建て藏めしるを後年蘭若なりて南阿山土塔寺と号し本尊阿弥陀仏聖徳太子の作を安す然る小二十八世真觀法師本願寺覺如上人を皈依して真宗と改め今ハ寺号し更也

○庚申堂 天王寺南門より南三丁許り小の背面金剛童子梵天帝釈藥師仏如意輪觀音地藏尊を安し日本最初の庚申也本堂の後二護摩堂と不動尊を祀る例月庚申の日ハ參詣



庚申堂

十九

○堀越神社 庚申堂の北西にあり、祭神崇峻天皇社格村社に例す

當社の前を阿部野街道と稱し、南に住持神社の東に至る是住持の南邊の官道なり
○邦福寺 堀越神社の西にあり、和氣山と稱し、禪宗よりして仏殿樓門諸堂とて皆唐山の風を摸し、幽寂の雅地にて方丈の後堂は眺望美景なり、庭前小櫻樹難産多く春秋賞一夏ハ螢火郭公水雞冬ハ雪の景氣茶田山ハ

茶臼山



庭中、左が如く四時共小眺め盡し、勝景也

○茶臼山 同西にあり、慶長元和の役、徳川家康陣営とすり、地な也

○観音寺 茶臼山の北東にあり、四光大師自作の像を安す

○一心寺 天王寺西門の西相坂にあり、坂松山高岳院と号し、京都淨土山智恵院に属す、四光大師月想觀を修せし、是場なり、文治元年天王寺の事務慈鏡和尚法然上人を招請し、此

地小方四間の草葺を結し、新別所と稱す、是世小源空菴と号し、然るに星霜を経て荒廢し、及びるを慶長年間存序上人中興し、一千日間禁足し、昼夜不臥念仏を修し、一心皈命を以て寺号を一心寺とし、其後又年を経て諸堂荒廢

し、嘉永年中真阿上人此所止住し、市中を勸化して修葺成就し、本尊ハ毘首羯摩天の作三像の阿彌陀を安置し、二階堂三千仏堂、彌勒堂、妙蓮社、骨堂、御影堂、中門、観音堂、四光大師唐元和戰歿士墳等あり

○合法社 相坂清水の西にあり、小堂の中、石



像は焰魔王を祀る此地に古四天王寺学校院
有旧跡として学校の欄と欄一とを後世合
法の辻と誤り云ふ

○安井神社 一心寺の北相坂の上のりて祭神
菅原大神社地一堆の丘山として末社多く本

社後小櫻樹又萩多く春秋花の境に幽観して
賑々を安井の名泉の西の方立の下よりを

○増井清水 安井神社の北のりて水清冷し
て四時酒ず此辺名水は第一等なる茶店庭

より

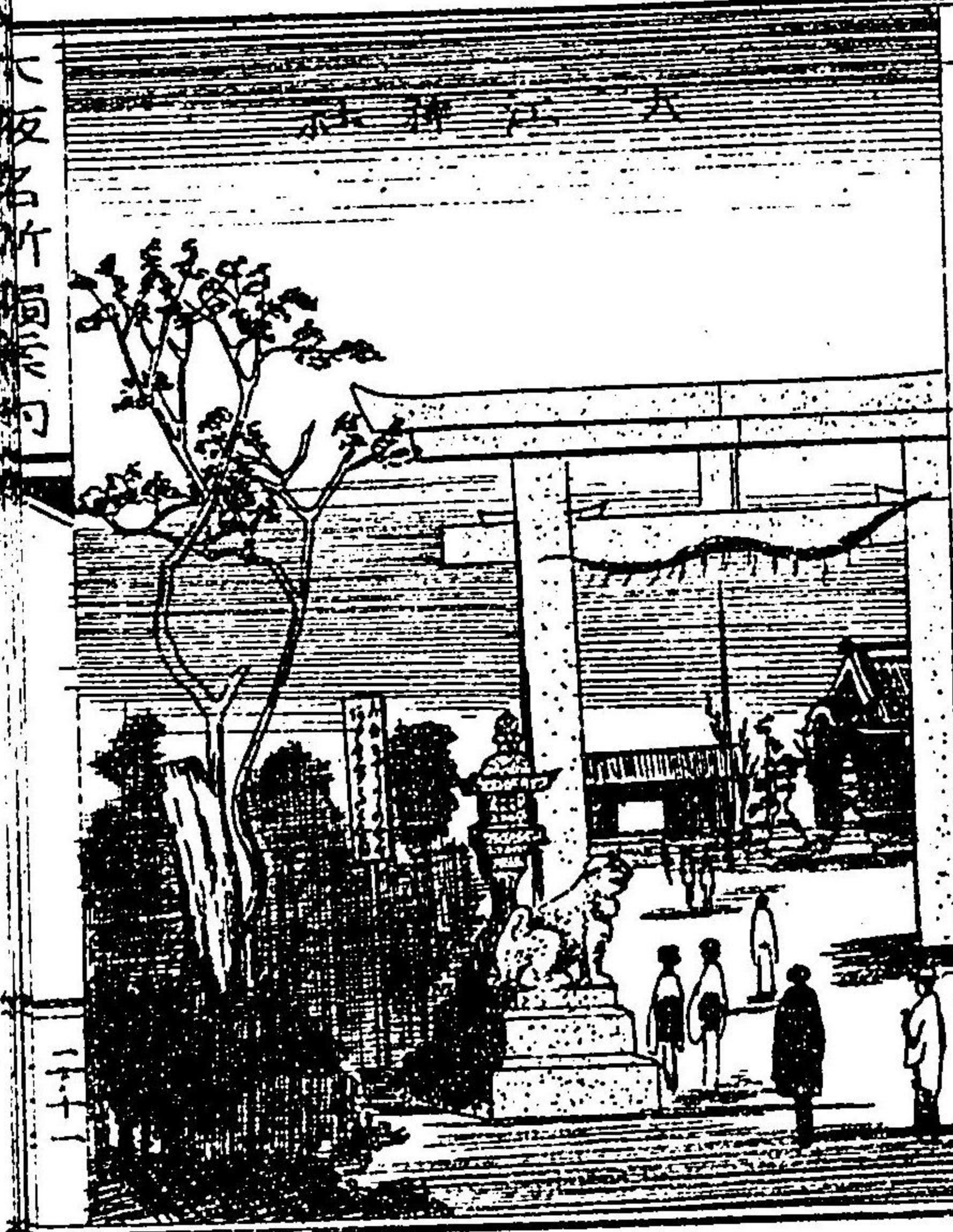
○新清水 増井清水は北のりて有栖山と号し
寛永年間延海阿闍梨の開基として京都清水

寺より聖徳太子作の十一面観音の尊像を遷
して本尊として旧有栖川寺と号し享保年間分

寺号が改む

○有栖清水 清水寺北石階の元より相坂増
井の劣うぬ名泉として汲て用水とす

此辺に浮瀬と称しは貨食家の有名なるもの
より西南の眺望絶妙なるが故に遊興に来る
者多くりて繁昌の家小酒器種は名品有り



○大江神社 清水北丘の上よりを祭神豊受皇
大神宮社格村社にて例祭七月十六日九月十
六日より未社多く眺望佳景なり

○吉祥寺 谷町筋の南鳳林寺の北隣より橋
列赤穂徳浅野家の菩提所なり堂内より四十七士
の木像庭中小内匠頭長矩墓誌表石は石塔の
り又表門の左右牆の下に築く所の石の朝鐘
園より渡来せしものなり

○隆泉寺 吉祥寺の北三丁許生玉寺町源聖寺
坂の上より本堂の前より金絲梅より花盛り

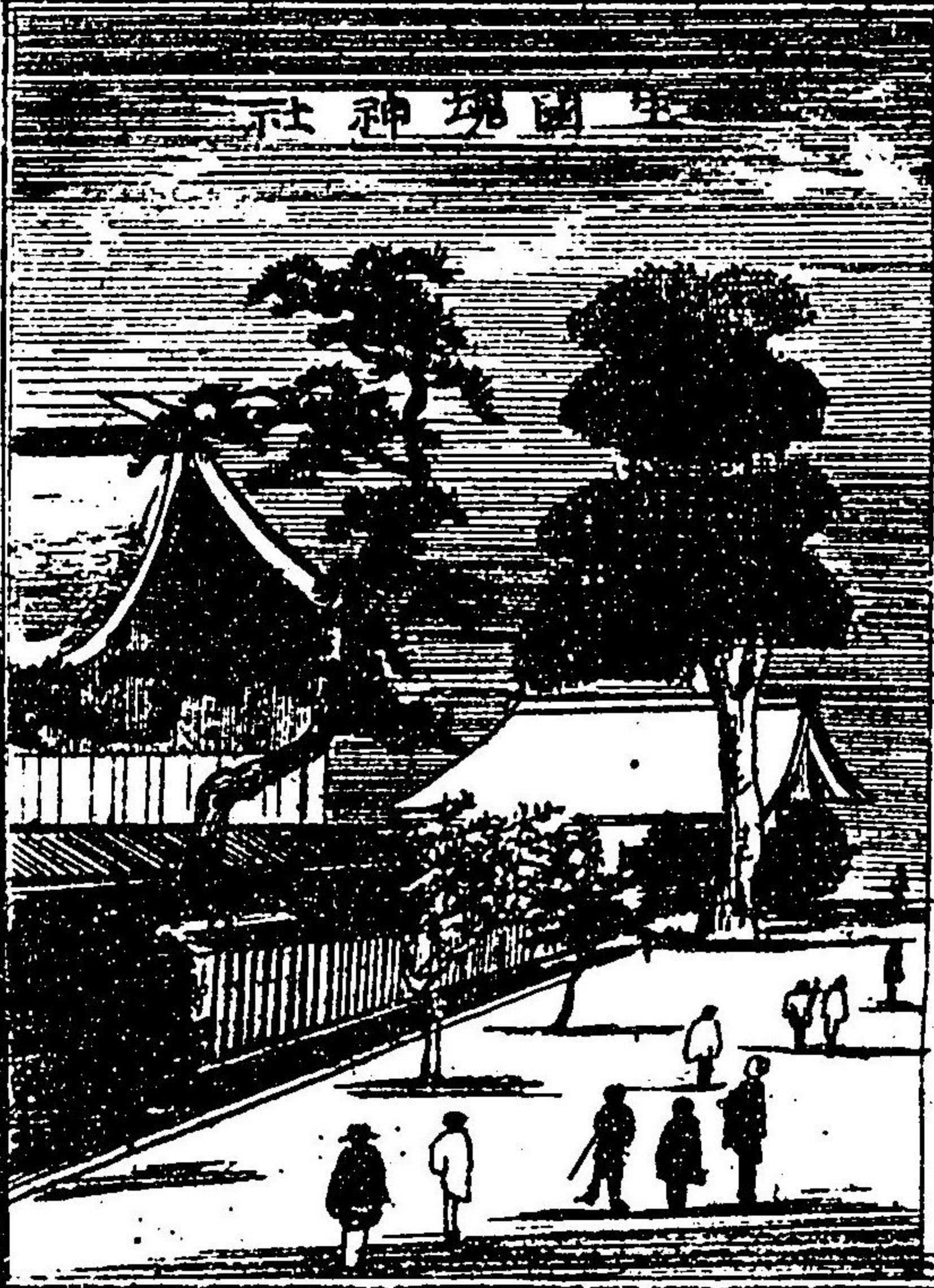


○道善寺 観音天 生五社大鳥居は西より来
験新よりとて歩を運ぶ者多し

○北向八幡宮 生五大鳥居は北にあり生國魂
神社は橋社あり祭神神武天皇感神天皇神功
皇后を合祀し天正の比より大坂城の諸士此
地に於て射術を訓練し北向小鎮座は保い村
城守護の謂なり城内に蓮池ありて夏は花は
盛に紅白花を交へて壯麗なり未明より騒客
来りて遊観に



○生國魂神社 北向八幡社西小町祭神生魂
 神國魂神なり神武天皇廿八年九月鎮座の神
 社地の辺を生玉庄と号す難波大社と崇敬し
 天正年間織田信長石山本願寺に攻る際社殿
 共火に罹り平定の後僅小社を建營し天正
 十二年秀吉石山此地を築造の時社地を
 此所に移轉し壯觀の社殿を造營し又元和
 の樹小災上せし河徳川氏再建し神官社僧を
 守護せしむ近年進社頭小宣宇許多ありしが
 維新の際神仏混淆を察せしき仙堂ハ他一遷



社僧を止め官司を以て祭祀官幣大社と
 本社八棟造り巖々たり攝社末社多く大鳥
 井ハ社地の東に建本社以後より市中を眺望
 ナ絶景也例祭七月九日官祭九月九日大坂市
 中ハ産土神なり

○真言坂 生玉社の北に在り此坂上ハ旧生國
 社の僧坊真言宗妙法を以て新ハ稱せしむを
 高津神社 真言坂を下りて東方小町祭神

仁徳天皇應神天皇仲哀天皇履仲天皇神功皇
 后葦原皇女を合祀し當社古ハ仁徳帝皇居跡
 鎮座なりハ秀吉府城を建築の時此地ハ

遷祀し社格府社なり市中一万餘戸の産土
 神なり攝社末社多く社地ハ一壠の丘に在り

三方小石階あり眼下ハ市街を眺め遠山滄海
 の遙望風景最一の勝地也茶店軒を連ね有名
 の湯豆腐あり七月十八日十一月二日三日例
 祭して殊小賑なり西坂の下ニ禽獸虫魚其
 百物を黒焼し店より古く傳はりて有名也

○頓燒地藏 高津社地北坂の北地藏坂より
 敷修院ハ内小安に尊像ハ慈覺大師の作初め



相列林村の安住寺縁記ふ其尊像塚女の身代りりの三て面頬を焼と云ふ靈驗ありとて諸人歩を運ぬ者多し

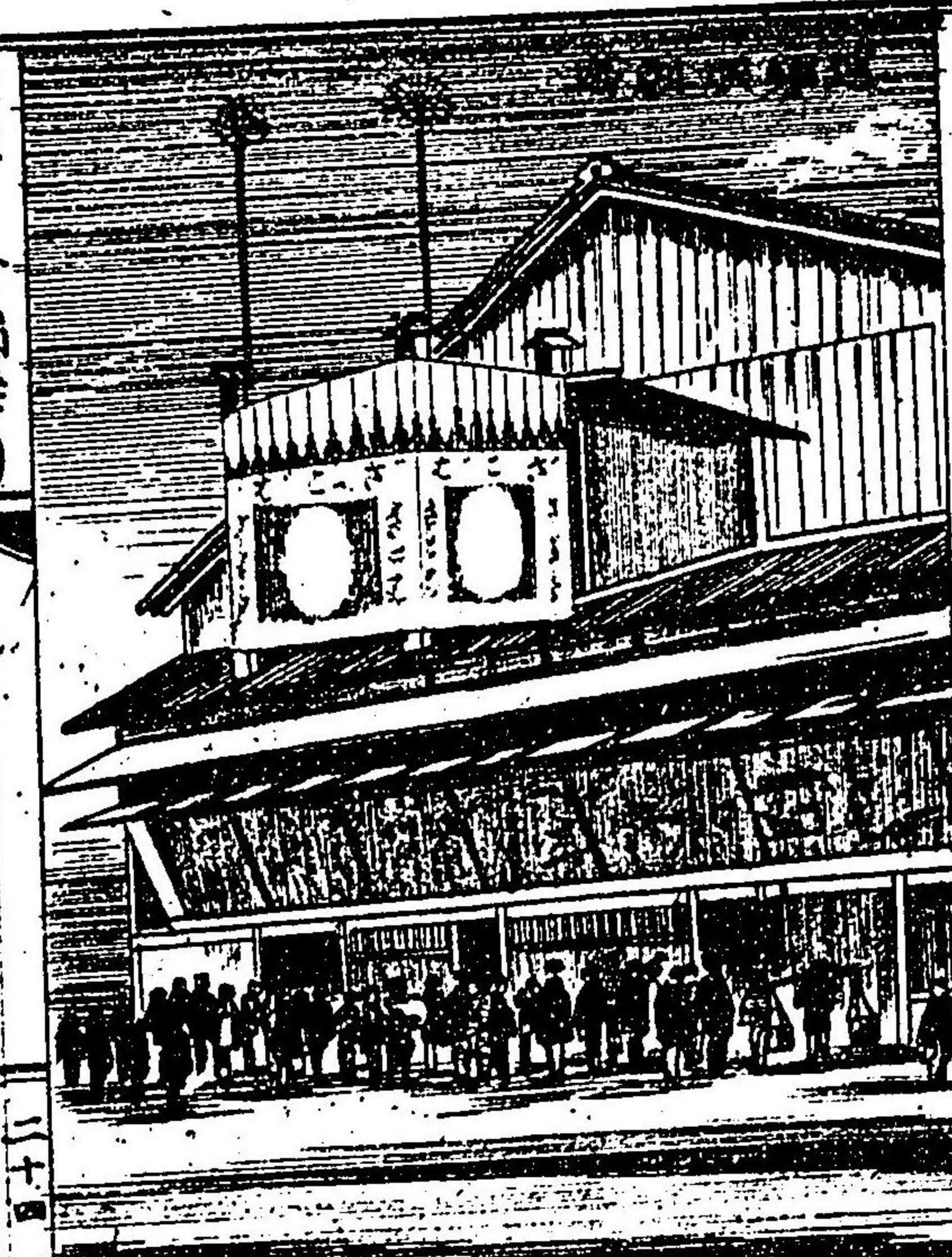
○妙法寺老松 類焼地蔵の東向いり有り日蓮宗本堂の傍りふ松の大樹りり幹の周圍一丈餘り高サ四丈許り四方枝栄へ一百餘あり

◎南の方 道頓堀川より南西の方を名所旧跡を記す

○櫓町五演劇場 道頓堀川南岸より東西捨

町日本橋南詰より戒橋南詰迄の間を云ふ處小劇場五ヶ所あり東より第一と辨天座と号し旧名若太夫座第二と朝日座第三角座と稱し第四と中の座と稱す第五と大西の芝居と稱し四季共ふ興行の絶間あり昆貞の大櫓川風小翻舞し芝居茶屋ハ軒を並へ此類ハ

○繁昌築紙ふん 法善寺 中は芝居は後より天香山と号し浄土宗鐵守金刀比羅神社吳歌の境に新願とて者昼夜間絶はし尚神社佛堂境内



多く茶店飲食店堂前、軒を列り、め軍談講釈、笑語、口淨、溜理、新内、祭文の、席射的、場、多、く、境内の、賑、い、此、類、な、り、

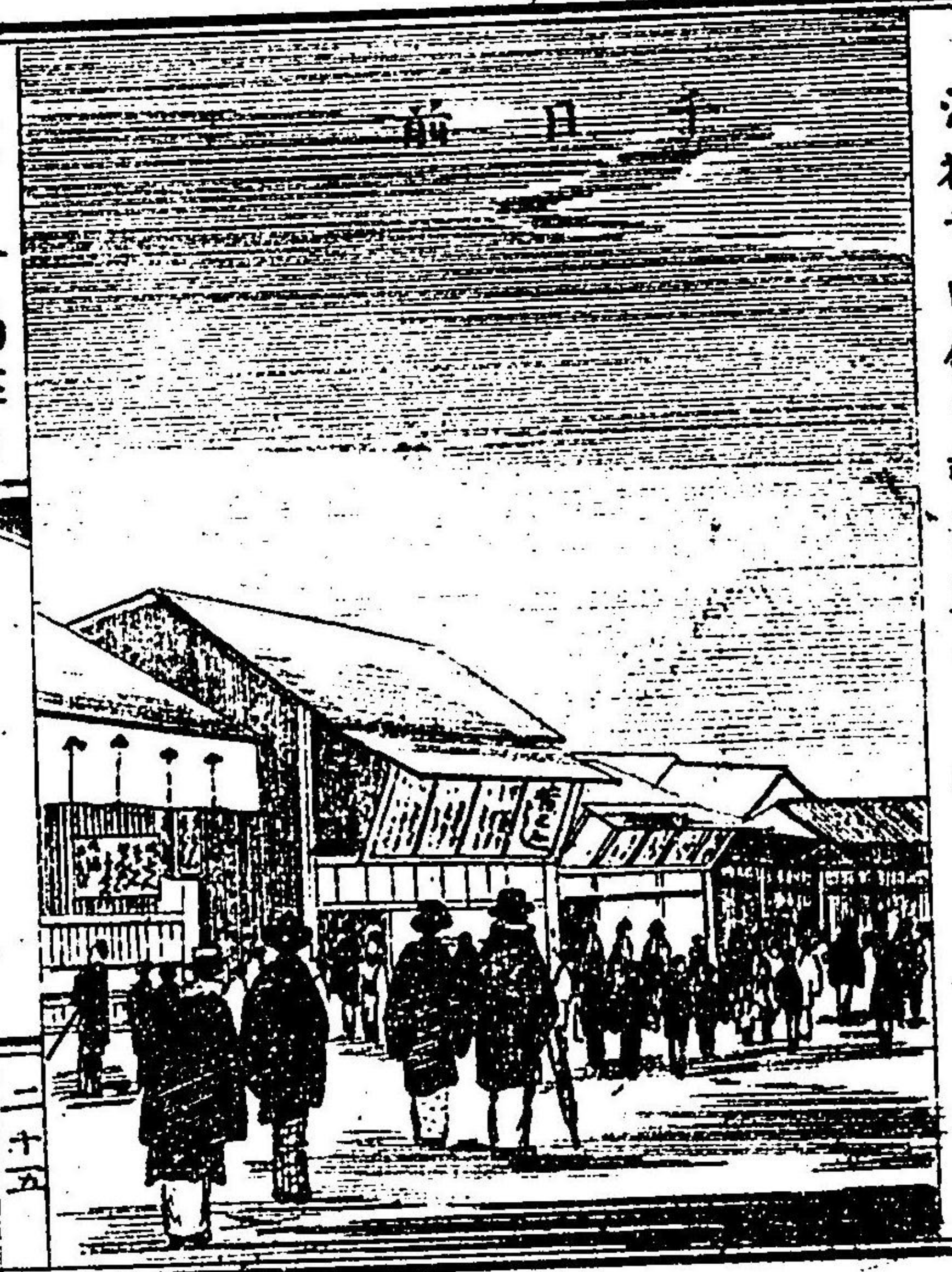
○竹城寺 法善寺の南隣、山を松園山と号し、堂内、小仏法大師の像を安置し、又、傍に観音堂あり、當寺の門外より南の方、千日草の、跡、を、近年、觀物、興行の、場、所、と、なり、寸地の、間、も、く、小、家、を、建、建、せ、る、處、を、設、き、廣、の、地、を、築、き、至、り、是、興、行、絶、へ、ば、

○自安寺 竹林寺の東より、日蓮宗本堂あり、



紙草を安十腸壇、鬼子母神、日蓮大士を安置し、妙見堂、本草、能、勢、と、同、神、を、祀、り、其、験、は、同、は、り、と、參、詣、問、斷、多、し、事、法、善、寺、金、刀、比、羅、同、

- 榎木神社 自安寺南一町許あり、榎大樹あり、其下、小稻荷神、饒麻呂祈願、多、し、者、多、し、
- 金刀毘羅神社 榎神社西南より、社殿、讃、州、象、頭、山、に、神、饗、祭、り、
- 坂町天神 自安寺の東二町許、東坂町より、法祐寺内、鎮守、菅道真公を祀り、



○日本橋 道頓堀川東より第二小架は南詰い
 日本橋通一丁目二丁目小五丁目迄つゝ
 西成郡今官村に至り住吉神社へ参詣は道頓
 堀和泉記伊予達十住還の街道あり北詰は堀
 筋と云ふ此筋長堀川小架を長堀橋と云ふ
 此辺有名の旅籠舎船宿多し日毎小繁昌地
 少く朝ふハ街上ハ鮮魚を販す往來群集と
 ○二ツ井戸 道頓堀南岸は東二井町小石
 の井筒の中小石を積累せし中隔て二ツの
 井と云ふ此辺は用水なり昔より名所なり



地名と云ふ此西南向ひ小粟の岩船堅の名物
 あり

是より東松屋町通を南へ往けバ六七丁の
 間東側ハ浄土宗の寺院而已麓を並へ建連
 せり是を下寺町通とし西側ハ民家多
 く又他宗は梵宇あり

○遊行寺 下寺町筋南端正當あり
 樂寺田成院と号し時宗遊行一派は梵刹あり
 遊行上人巡行の時ハ當寺を寓舎とす本尊藥
 師仏長三尺六寸を安置堂内ハ小粟判官の

二ツ井戸



像芭蕉翁肖像又境内に有名人先生仙優力者
杯の礪石多く有此地天王寺詣観音巡り等の
道路むき往還まげく多て参詣絶へ
○長町毘沙門堂 日本橋筋三町目西天王寺村
の内よあり崑崙山大衆坊と稱し本堂小毘沙
門天吉祥天文禪師童子を安す是應新い
とや早夙より参詣信者多く寺内は聖天堂観
音堂稻荷祠等あり此辺傘を製する職人多く
浪花名物の一種あり
○難波御藏 毘沙門堂の西南難波村に地蔵橋



筋南小あり大藏省所轄の米蔵小一々税米を
収めおく所あり

○廣田神社 西成郡今宮村に中なり祭神天照
皇大神比荒魂なり社格村社當村産土神とし
四境内共小橋水繁茂一横社八坂神社は本社
の西小あり未社稻生神社あり茶屋は庭前小
ハ萩数株を植列ね萩の茶屋と稱す例祭三月
廿三日十一月廿八日なり此地に住吉街道小
て平日より多諸人多し

○今宮蛭子神社 同所南小あり今宮神社と稱
し祭神天照皇大神事代主神大己貴神素盞男
神月讀神をも例祭ハ九月廿三日より音楽流
鏑馬等式あり神輿四天王寺境内一渡御あ
る例年一月九日十日十一日の三日間初我
十日我と稱し市中及び近國近郷より貴賤老
少男女群集し福德を祈り蛭子神ハ耳聾は
りとして木槌を以て社殿の邊を打ちたり其
響声遠く維香潮は満るが如く茶詣の街上ハ
種々吉慶の貨物を販す五花街に藝妓娼婦
ハ衣服美麗に着飾り人力車に往還柳の齒は



今宮煙子社

楓よりを烈しを浪花緑日の賑いを最第一と
し十一月十九日廿日も同一を参詣賑へり

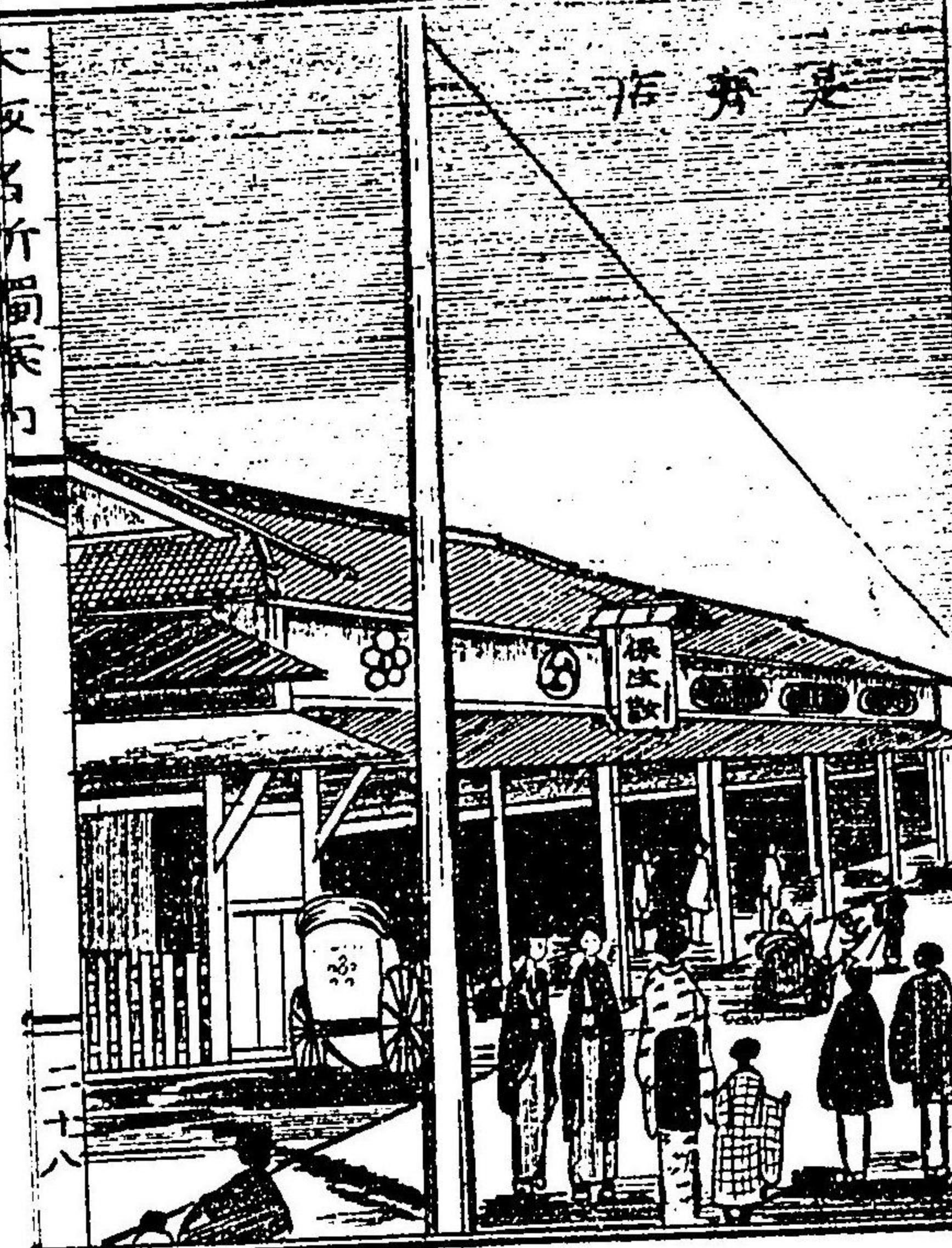
○聖天山 天下茶屋村の東南より海照山正
圓寺と号し真言宗本堂より不動尊虚空藏弘
法大師と安し傍に敬喜天堂あり境内に一堆
の丘山より眺望光景も櫻楓數株ありて
春秋の花盛りは美観なりて頗る勝地なり
○是齋菜舖 天下茶屋村より津田氏なり曰
家より寛永四年藥肆を開業し和中故を諸
方より弘むを製する小風頭小大車と設け

人力を以て同七ハ藥種を細粉に舖の構へ數
十開し床椅を列へ往來の衆人ハ藥湯を
たてて施し藥能諸病を治し中暑小驗
あり

○天下茶屋 同所より豊大開大坂の城より
泉州堀の地小往還の時憩所とせしむる
名と今尚其小室庭中小存し

○住吉新家 住吉神社は西島居の前北の町を
云ふ此地ハ飲食家飲食舖多く街上下左右小
軒を連ね参詣は敷席を沮む中より三文字屋

是齋菜舖



天下茶屋

ハ宴席美麗... 庭中光景頗るよく新家割
烹中の魁り又名物以魁ハ煎餅麥蕪細工風
車竹馬木偶安具蕃椒其れ種々の品物を商ふ
家数多あり

○生根神社 新家の東丘上小なる世々興の天
神と云ふ祭神少彦名神延喜式内の神社之末
社に社格郷社にして住吉村及び近村の産
土神とい八月九日例祭あり一千六百戸氏子あり

○住吉神社 住吉郡住吉郷小なり祭神一本社ハ
底筒男神二本社ハ中筒男神三本社ハ表筒男
神四本社ハ神功皇后の四社なり神功皇功十
一年鏡坐して三韓親征の時乃軍神なり其以
て宮造りの魅陣法を象り造管のしなり其後

敷度修管あり社格官幣大社にて例年大小社
祭祀七十五度あり就中三月初念穀祭四月卯
日神事六月御田植神事十一月新嘗祭等殿庶
群参此余神會も又販り社地宏大小

布祢神社后土神社神樂殿神輿殿産屋殿橋原
神社市突須神社海人子神社御井神社惣社寺



住吉神社

住吉神社

を鎮座し石鳥居、中央と東西に建ち石燈籠、境内許多し、繪馬舎、文庫、舞臺、反橋、神田、生石、此余名所、旧趾不少と、畧とて容易に記し、其大略を載す、而已

○小町茶屋 住吉神社西鳥居、其前通南、安三町、小あり昔、社地の松林、小土居を設け、参詣人の休所とし、容小極の長に柄杓の上、茶碗を載せ、茶をまき、むこや一奇あり、小町は名、此茶店の婦人夫を、さうり、り、名とし、

○難波屋の松 安三町より、此家の庭中、あ



る所、松幹、低く四方十有餘間、圍九五十間、許枝葉繁茂、蓋覆し其形、笠の如し、奇代の靈松、いり、類焼小罹り、今、其跡のみ遺り

○潮崎霞松原 潮崎、安三町の北に地あり、て霞松原、安三町の地を云ふ、上古に、総て此地、濱して松林なり、と安三と稱する人、開墾して市街とし

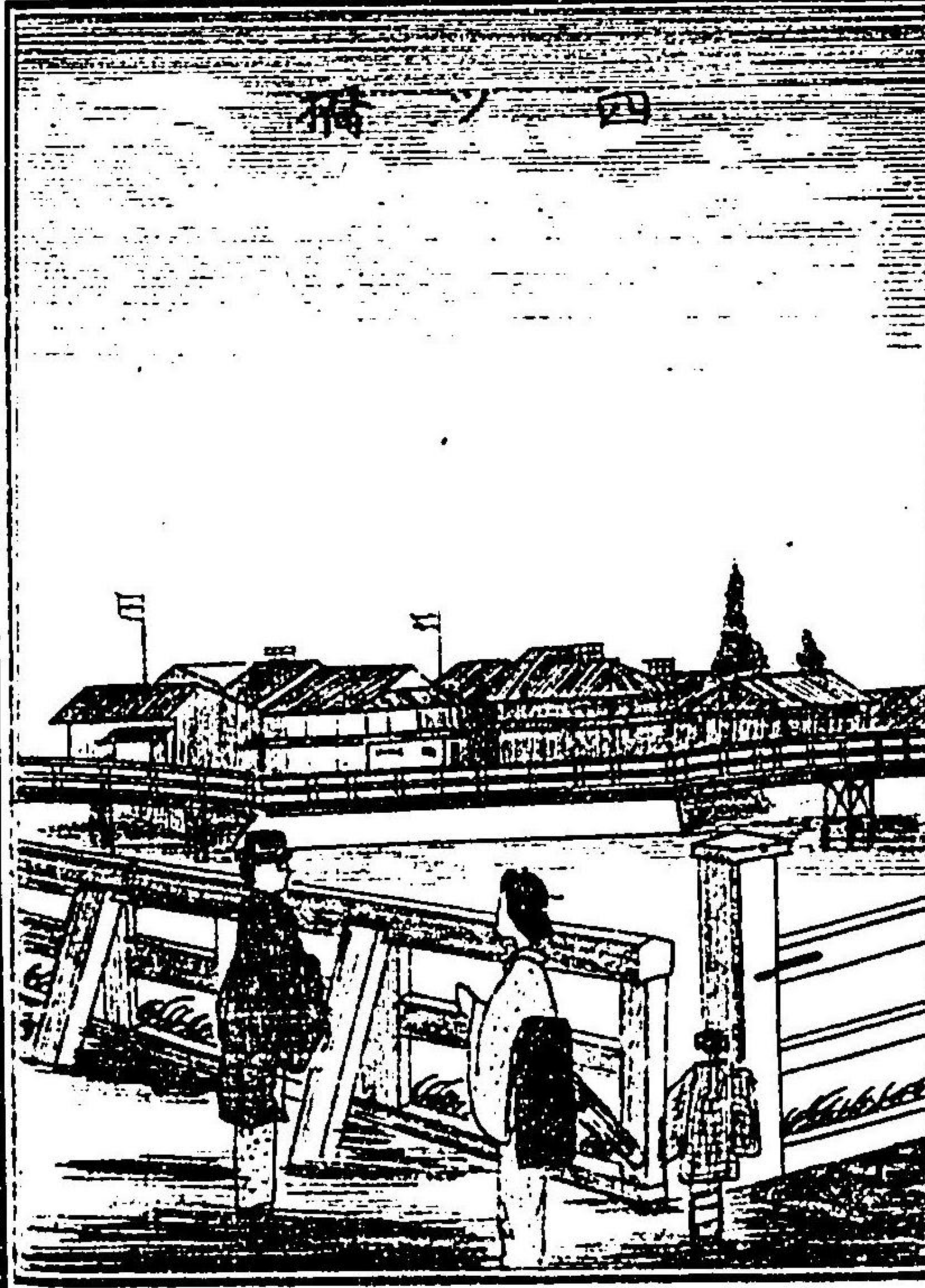
是より正南に大和橋あり、此橋は南に坂あり、地、和泉國に属す、名所數多し、尚海濱、波戸場、風景美觀、遊興の勝地なり、又是より東南に止々呂支神社、裏池、草津大歳神、依綱池、などの名所あり、と、畧し、此

○西南の方

○堀江 東に西横堀川、西に水津川、南に道頭堀川、北岸に長堀川の南岸を區域とし、此地は、往古下兼波田圃の地なり、を元禄年間、開墾し、て市街となし、中央に川を鑿り、堀江川と号し、け南北に分ち、南堀江北堀江と稱し、所、諸

産物の問丸通船運送荷物船宿材木薪炭植菓
 市場あり劇場遊里有り市井賡賑なり
 ○四ツ橋 長堀川西横堀川の二流十字と成る
 處に架る長堀川上を架るを炭屋橋と云ひ川
 下を架るを吉野屋橋と云ひ西横堀川上の橋
 を上繫橋と云ひ下は橋を下繫橋と云ふ是を
 合して四ツ橋と云ふ又其辺に煙管を高く塵
 類多あり此辺の名物と云ふ

○堀江三柱神社 四ツ橋の西南北堀江上通一
 丁目小なる祭神天照皇大神官月讀神素盞男



命日月星の三光を祀り諸人崇敬せしこぞ
 影々々々例月一日六日十日廿一日廿二日
 殊々参詣多し

○堀江花街 四ツ橋西南長堀上通北堀江下通
 の内より大小の寄樓数多列なり其外割烹
 家飲食舗多く中村座明樂座等の演劇あり四
 時繁昌とる賑はる遊里なり

○堀江市之側 長堀川宇和島橋より堀江川隆
 平橋迄の間青物を販ぐ市場なり毎朝三買の
 人群集す

○阿弥陀池 同西三丁許あり蓮池山善智院
 と号し信州善光寺に懸所也元禄十一年智菩
 上人開基善光寺同躰本尊阿弥陀一光三尊金
 銅像長一尺五寸を安す本堂傍の池を阿弥陀
 池と稱し善光寺如來出現の跡也池中に宝
 塔を建て放光閣と号す三尊を安し常燈明を
 照す又觀音堂普門堂愛染堂地藏堂熾大堂等
 あり不斷参詣絶へば涅槃會盂蘭盆會十夜春
 秋彼岸等小信者群をなす境内に軍談音
 曲席射場茶店あり



堀江神社 道頓堀幸橋北詰より祭神活目
入彦五十狹茅尊 社格難社 例祭七月

九月廿三日 例祭三日 十三日 廿三日 夜市あり
腹帯地藏 難波入堀叶橋東詰難波新地七番

町小の近時 京都極端薬師より此地小遷
す安産を守る 具験新ありとて妊婦祈願を
者多し

相撲場 同所小の例年夏晴天十日の間大
角力兵行の賑り 事言まん方なり

鐵眼寺 難波新地叶橋の西南ふあり 慈雲



山瑞龍寺と号し 黄檗派の禪刹なり 四年鐵眼
和尚開基 諸堂建管支那風小模し 仏殿ハ薬師

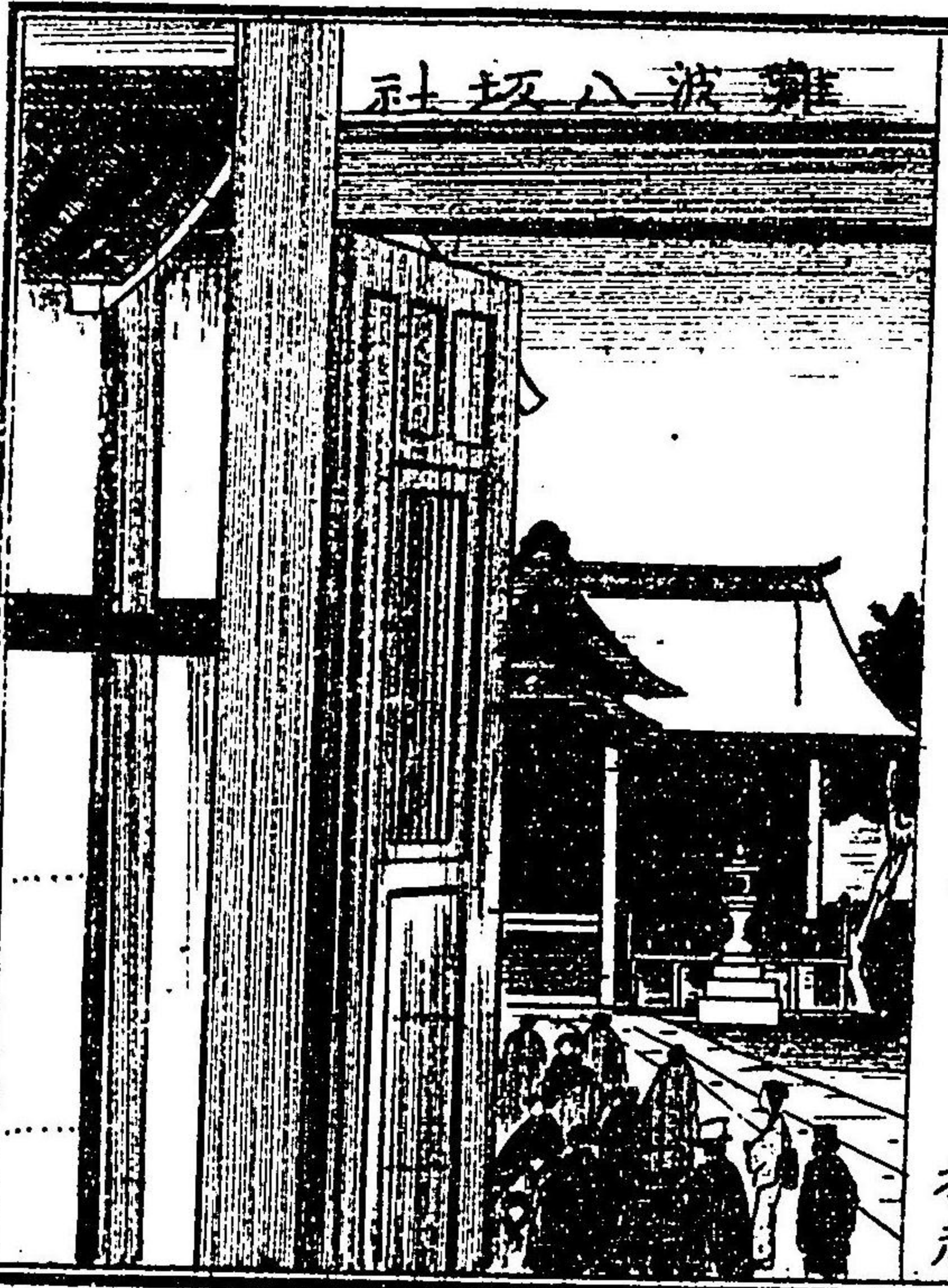
仏を安し 天王殿ハ 弥勒 四天王 韋太元を安
す 禪堂 祠堂 開山堂 祖座 等あり 蓮池あり 例年

四月ふ三千仏名晋度會 修行ありて 衆請群参
す 此辺茶店 貨食舗 多く 於福茶屋一方樓あり

四時遊觀の騷客絶へば 繁昌なり

○月江院 鐵眼寺の南ふり 本尊觀音を安す
傍の堂小 信貴山 同休の 毘沙門天を安す 應驗
新ありと 信者多く 詣す

○難波八坂神社 月江院の南より祭神素戔
 男尊少を郷社として當村及び大坂市中堀江
 難波新地等の産土神なり持社末社夥多あり
 例祭十月十四日三月十三日七月十四日九
 月十四日十一月十六日
 當社鳥居前を大道と稱し毎朝乾物海川菓餅
 菓子種々の食品古着古道具類を販賣鋪列な
 り市賑い又難波村小整骨療治をなす家あり
 又北山の名灸あり共小著名あり
 ○津守神社 亦津村西南津守新田よりあり村社



この祭神伊勢兩宮住吉神綿津見神大歲神
 の三座を合祀し此地の産土神なり
 是より西北より新田多く連なる海辺にて
 亦津川口に至る
 ○亦津川口 津守新田南面より此所は兩川
 口の其一より諸國海船出入の要津あり廻
 船便利の爲み天保年間川口小長サ八百七十
 余間の石塘を築造し是を石波戸と稱し此小
 又近年練化石造り燈臺を建設し其燈光八里
 小達いと云ふ

○西の方 西横堀より起り西北の方
 小至は

○新町橋 西横堀川上より第十三小架る鐵橋
 ある東詰ハ順慶町西詰ハ新町通なり一名新
 草橋と云ふ寛文中新町廓通路の爲み土橋
 を設く其後年を経て本橋とす漸々美觀の
 橋梁となり昼夜繁昌往還の間断なし

○新町廓 新町橋西より寛永三年伏見の浪
 八木村某官許を得て田圃を開き所々より

新町



遊里を聚め境界に水道を鑿り東西の口ハ大門を構へり漸々盛大の廓となり新町通同南通同北通裏新町の四條となす青樓何れも美麗を盡し就中九軒町に吉田樓神崎樓茨木樓杯い冠し俗有名の青樓なり太夫天女娼妓藝妓禿舞妓仲居まで美艶な粧い昼夜の賑い言語絶し世南通の演劇場を建設して繁昌を倍せり

○白髮町観音 新町南三丁目鱈魚座のり日本尊十一面観音和列長谷寺の本尊と同木同作

あり寛永年中草創い本称い白洲寄り吳驗著として参詣多し

○鱈座 新町南通三丁目四丁目をり五列薩廣紀伊及び諸國の鱈を商ふ家数軒あり鱈は問九此の列をりな以て名とし又此南長堀川架の橋を鱈座橋と称し

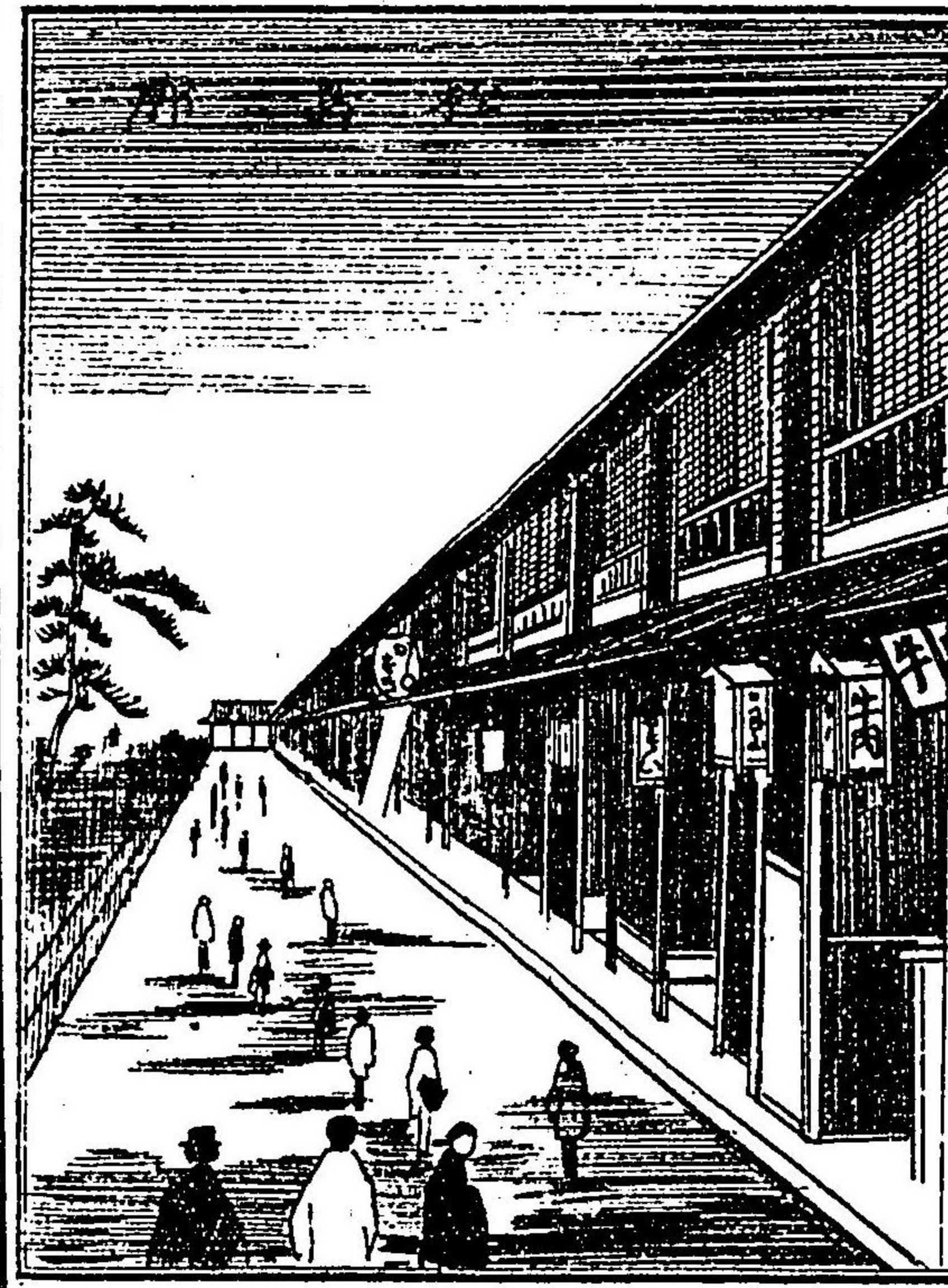
○西長堀材木市場 長堀河岸のり長堀川西横堀より木津川迄十五六丁の間諸國材木問屋兩岸に数軒あり川中ハ筏を浮し陸ハ諸材木を蓄積市をりす

○松島廓 長堀川の西木津川の西岸のり慶應年中公命より新設の廓なり中央に通街を中之町と号し東は通を松島町西を高砂町十返町と稱す三條の巷街に席貸茶屋列あり割烹鉦屋菓子店洗湯其餘種々の物品を賣ふ家数列す又演劇場講釈笑語音曲射場観物の席絶へば興行に中之町の巷上ハ花園を設け木津川ハ松島橋千代崎橋の大橋あり尻無川ハ梅木橋常盤橋花園橋を架す廓中昼夜は繁昌類ひなり

○驅微病院 松島の中より所々花巻の娼婦の微毒は有無を検査し其疾はもめり治療を乞い養生をなす病院なり

○松ヶ鼻 同所より松島は北端より一樹は松昔より有り其下は蛭子神の小祠有り美景也

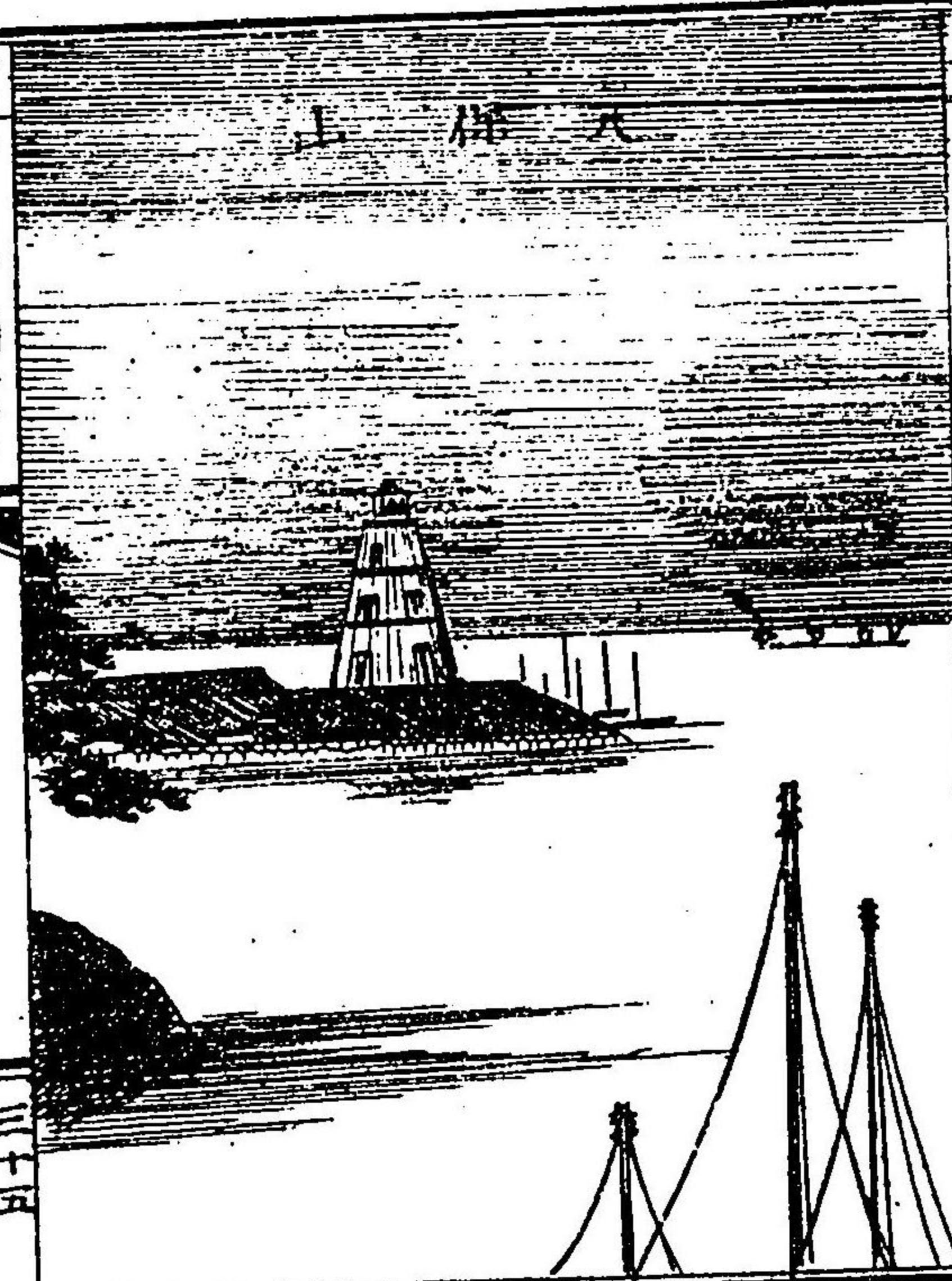
○天満神社御旅所 松島の中より例年天満天神の神輿此所へ渡御はる此神事ハ浪巻第一等賑ハハ鋒流ハ神事ト称ハ行粧美々敷川筋ハ篝火ハ数限ハ御迎ハ船を出ハ挿人水陸ハ充滿ハ其壯觀ハ事言語ハ絶ス



○住吉神社御旅所 松島南より例年九月住吉神社北祭は日神輿此地へ船にて渡御はる一日御駐陣はり翌日還御あり

○寺島 同所より松島開港以前ハ木津川町九條村町寺島村町の三町に分れ海川船を製造する職工多く居住す是より南に勘助島前だき島又北に之の子島あり

○天保山 大川は川口あり東西南北は廻船海船入津は目標の爲に築造せし故に目標山と号し天保年中新築は山を以て世人天



保山と称す安政三年徳川氏此所小砲臺を築
 造す又明治五年燈臺を建らば赤光凡十二里
 遠きと云ふ

○安治川 大川筋北下流なり大川堂島川土佐
 堀川蜷川等の下流合集して安治川となり末
 ハ海小入負亭二年川村瑞見安治の開く川は
 り故小安治を用い川名と日々出入り船數
 繁しく橋の列こと死と林の如く實小大都會
 の大港なり

○富島波戸場 安治川南岸小あり火輪船發着
 の波戸場にて税関を設け内外輸出入の物貨
 を檢閲し積荷取扱い會社問屋等數軒列を
 豪商此所小集い群をば登着の景況恰も朝
 の満千の如く殷賑すといふ類なり

○商船取締所 同所東小は諸國航海の商船
 の取締をなす

○商船学校 同税関の傍より航海をなす者
 入校して機關運輸の業を學ぶ所なり

○居留地貿易場 富島の東より歐米及び各
 國の商館二層三層の石造壯觀の館舎を建築



富島波戸場

して止任し貿易をせし地はを
 ○耶穌教天主堂 古川筋橋の結より煉瓦石
 造りて麗々たる堂宇を建築し中々宗教の
 本尊を安置し生徒を教めて教授する所なり

○安治川橋 安治川上より第二小架る橋なり
 橋の正中の下川中より石を以て円形の臺を築
 きて之小真木を建橋板小貫る大船此小通る
 時ハ真木を廻せば正中の橋板回り横小帆柱
 を立しき通行なし通行終るは復回して元
 の如くも機關汽船奇巧の名橋あり也

八こきを磁石橋と云ふ又水津川の千代橋も

○此小等

大坂府屬 居雷地東江之子島上り町小等

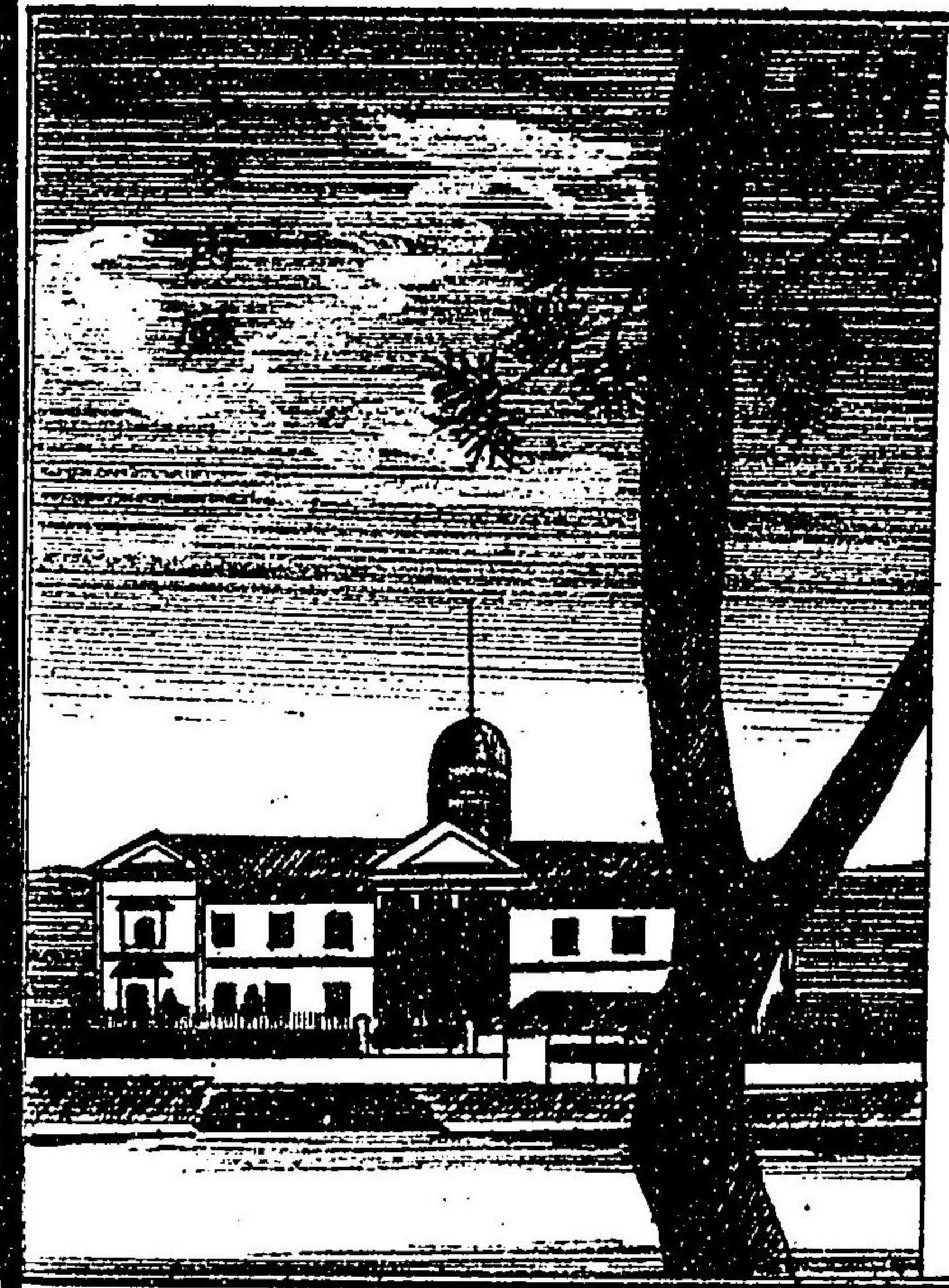
模列の内東成西成住吉島上島下島船場敷の
七郡及び大和河内和泉三ヶ國を管轄する官

○廳

府廳の東小等京町堀江戸堀等

末小等地方の旧名を鷺島と云へり毎朝遠
近の浦々より大小の鮮魚を船小生け此所小

運送せしを問屋仲買市を立しと云ふ其



繁昌一うなむ此市場豊大閣大坂在城

時ハ備後町東横堀辺よりて交番は時の

此地小於て市を立しは後年此地小移り

○蝦蟇魚市場 雜喉場（雑魚市場）の東小等

を諸國より運輸しを毎日市を立し是なり問

知接買列り多敷多ハ塩魚を藏し積納屋小並

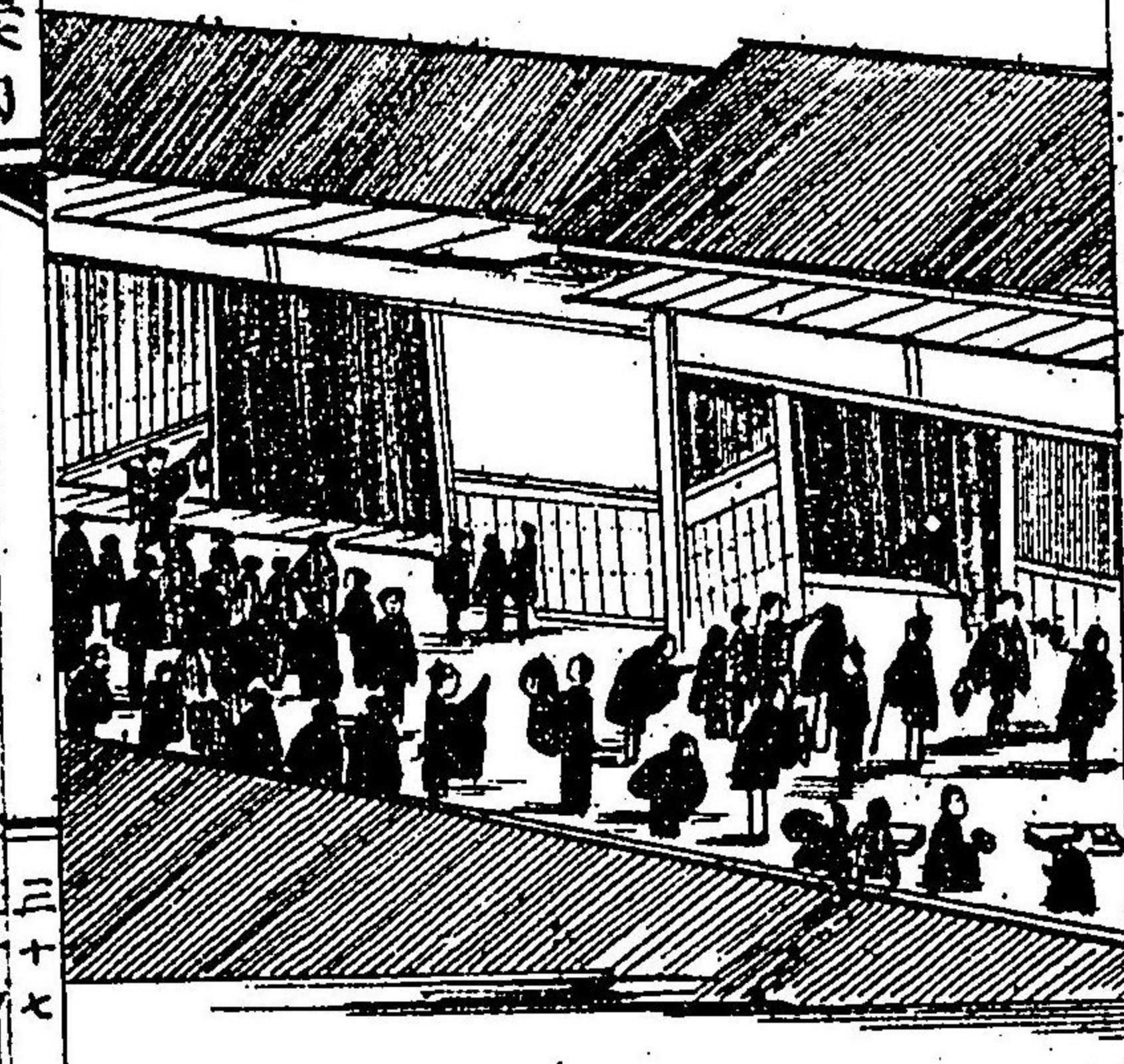
へ買入ハ未明より龍荷車力と集り販

く繁盛なり是ハ雜喉場鮮魚市小等ハ觀し名

ハ天正の頃伏見町東堀小在て毎朝市を立て

高聲小安賣と咄（おどろ）ハ秀吉其聲を聞かす

雜喉場鮮魚市



くと言つる、天竺の音、言ふ可く
宣ひ、地名と、なまき、其後轉地して諸
賢此所に移る

○廣教寺 報の南西廣六洞、世人願慶寺
と云又ハ廣六洞御堂と稱す開基ハ本願寺第
三世覚如上人の季子善宗上人也況松山と号
す本堂阿弥陀仏を安置し願慶ハ見真大師木
願寺代々上人の影像及び聖徳大師七高僧の
影を安置し願慶堂の類ハ法然上人の影なり境
内廣く堂宇結構壯觀なり



○西北の方

○五佐堀西國渡海場 五佐堀川ハ大川の分流
なり難波橋より下南一流なりを土佐堀と
云ひ此ハ流るるを堂島川と云ふ末ハ又合
て安治川ハ入海川上より川下ハ五三間八橋
を架す兩岸ハ西國各地へハ渡海船河津ハ繁
き碇泊し定日ハ出港するなり又毎夜出船な
る事あり陸橋ハ夜合荷物取扱ひは問屋多
く泥屋橋上下ハ讚岐橋ハ備前備後金刀比
羅航海の船多く常安橋の上下ハ安藝周防
長門の船禁り川下ハ尾崎灘目神戸兵庫神
石高砂姫路等の船此所ハ若発するが故ハ昼
夜とも般販するなり

○江戸堀開運神社 江戸堀北通二十目旧長州
船乗り 旧堀内の鎮守なり旧名土佐湊社と
号し若神稻荷殿島春日天満宮人麿と合祀す
社頭茶店劇場等ありて賑なり

○控訴裁判所 土佐堀四丁目越中橋南詰ハ
司法省の所屬京都府大坂府兵庫岡山滋
賀福井石川富山和歌山徳島高知愛媛等

控訴裁判所



の二府十縣の控訴を裁決する公廳なり

○柳川豊公神社 中の島四丁目常安橋の西旧

柳川郷に在り祭神豊臣秀吉なり境内に演劇

茶店等あり又熱湯と云ふを美肌の洗湯有

○高松金刀比羅社 同所より旧讃州高松郷

内の鑑守なり又丸龜旧郷にも同社あり俱小

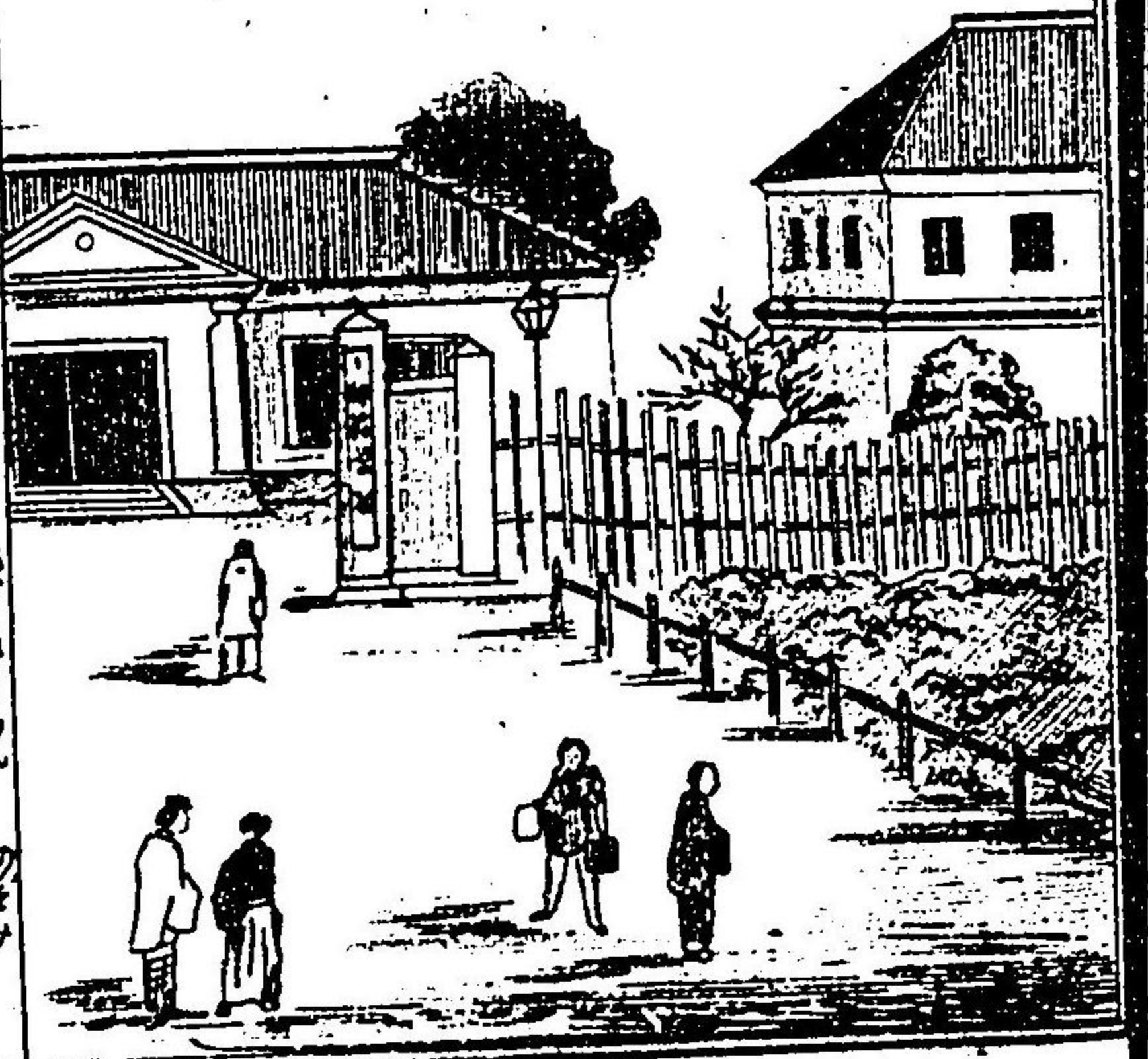
参詣しつゝ例月九日十日夜市あり

○書籍館 常安橋一丁目北常安橋にあり和漢

洋の書と普く集めて館内に列し縦覧を乞ふ

者館内に入ることを許す

師範学校



○師範学校 同所より小学校教員の望むる

者入校授業をばし所也

○模範幼稚園 同所より六歳以下の幼童小

学校に入前小智慧を養せしめん為に入學は

十学園なり

○病院 同所より日本の醫官西洋の醫師出

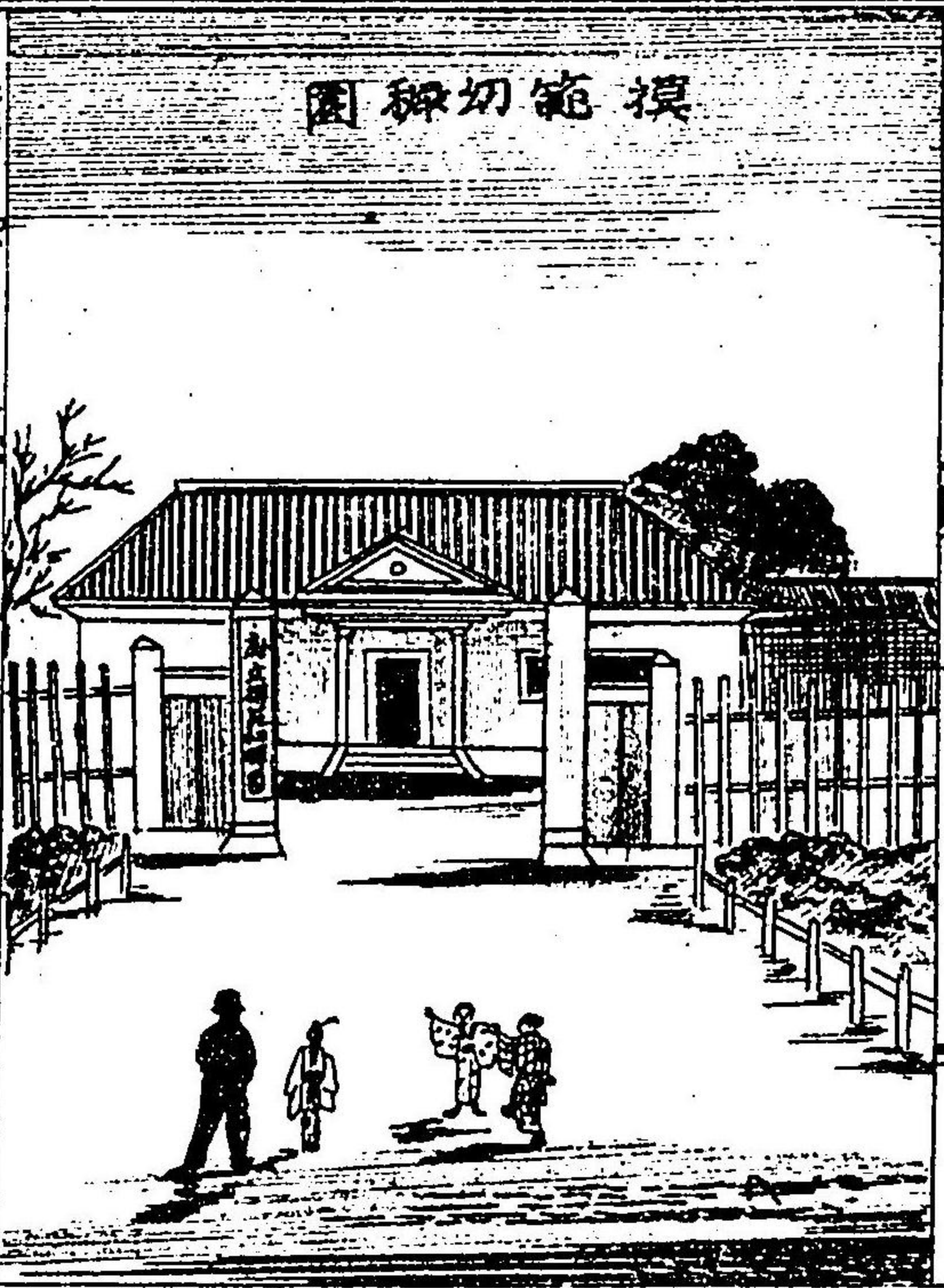
頭して病者治療を乞ふ者之を診察し薬を

与へ或ハ院内に於て養生せしめ或ハ招請

せしむるハ往イ醫療を乞ふ

○製紙場 玉江橋南詰西より器械を以て精

模範切神園



巧の洋紙を製造する工場にして場内廣く壯觀なり

○紡績所 玉江橋北詰西よりあり紡績の器械數多場内小設者毎日許多の絲を製出す

○製藍場 同東田築橋北詰より五代氏が建てし藍染草を製造所にして毎日幾多の工人此小集り佳品の藍錠を製し内外各地小輸出せしむ

○淨祐寺 同北梅田橋の北上福嶋村小あり寺内小赤穂義士矢頭右工門七父長助の墓あり其

頭父子大石小盟約し其を襲せんといひ中長助癸病し此地に死し故小梓右工門七東より赴き本望を達し

○福島上天神社 同西洋正橋の北よりあり社格村社祭神菅原大神事代主神は此地に生土神と此西小中天神社下天神社より祭神三ヶ所と同一

○五百羅漢堂 上天神社に西北より龍王山妙徳寺号す黄蘗流に禪刹して鐵梅和尚の開基正徳年中南源和尚の造三仏殿小釈迦山を安し其巡り五百羅漢の像を安す禪堂鎮守祠より表門及び諸堂の額ハ隱元鐵梅百拙南源等禪師の筆なり

○久安寺 五百羅漢の北小あり久安年中後白河帝草創なり妙徳寺兼帶所なり一享保年中此小移轉し再興す

○逆櫓松 上天神社南西浄正橋に西小あり民家の庭中小あり大樹に老松枝葉榮へ街上小出の文治年間源平合戦の時源義経梶原平三景時と逆櫓に論有し旧跡なり



五百羅漢堂

○南浦江聖天堂 五百羅漢の北浦江村にあり

了徳院と号し真言宗の寺院の中又観音天を祀り其應新なりと諸人平常絶間なく殊に例月一日十六日其縁日ハ群衆に又寺内小運池あり花は比ハ花香を賞して來る者多し

○毘沙門堂 了徳院の北隣にあり妙壽寺と号す禪刹あり境内の小堂ハ毘沙門天を祀り當寺に林泉美景を擁樹社若藪多く四季に眺遊觀は勝地とて賑し

○圓満寺 福島西北野田村にあり天文元年本

願寺第十代證如上人此所ハ住職ハ山城國山科の御堂を江州佐々木定頼と日蓮宗の僧侶一味して攻圍し放火の上人山科を退去して

大坂に至り尚逐末つて實討んと戦ふ大坂及ひ込郷より門徒の責賤老若身命以惜し雲霞の如く此所ハ馳集り防戦を終ふ退却然るに同二年不意に起つて復敵勢攻末了上人已ハ危ふかりし時野田福島ハ門徒復馳

集り上人を救ひ力戦し於是敵味方ハ討死ハ者多し又負傷の者數知まじ野田村の門徒廿一名討死す其墓所當寺内にあり

○極樂寺 同村にあり真宗の寺院なり天文二年八月九日證如上人二十一人討死し當村ハ門徒を憐れみ真筆の文章を下さし

此寺に什宝あり例年三月九日法事を修し此文章に諸人ハ捧せしむ世ハ之を野田ハ御書と云ふて尊敬し

○野田の藤 同村にあり春日神社に境内ハ紫藤數多し古く著名なり花の盛りに鹿遊覽ハ末は客多し又藤庵と稱する亭

あり豊大閣遊覧ありし時憩所跡なり

○北の方 兼波橋の起り天満に至り其
方位は名所旧跡を経て北東に方川
崎の畢る

○兼波橋 大川筋第四に架す四大橋の一なり
南結の地は此結に天満の地なり此
橋以前は木製にして天満の地は長橋百十四
尺あり西の方小中の島の東端あり之を
山崎と号け割烹等あり明治十二年橋修造の

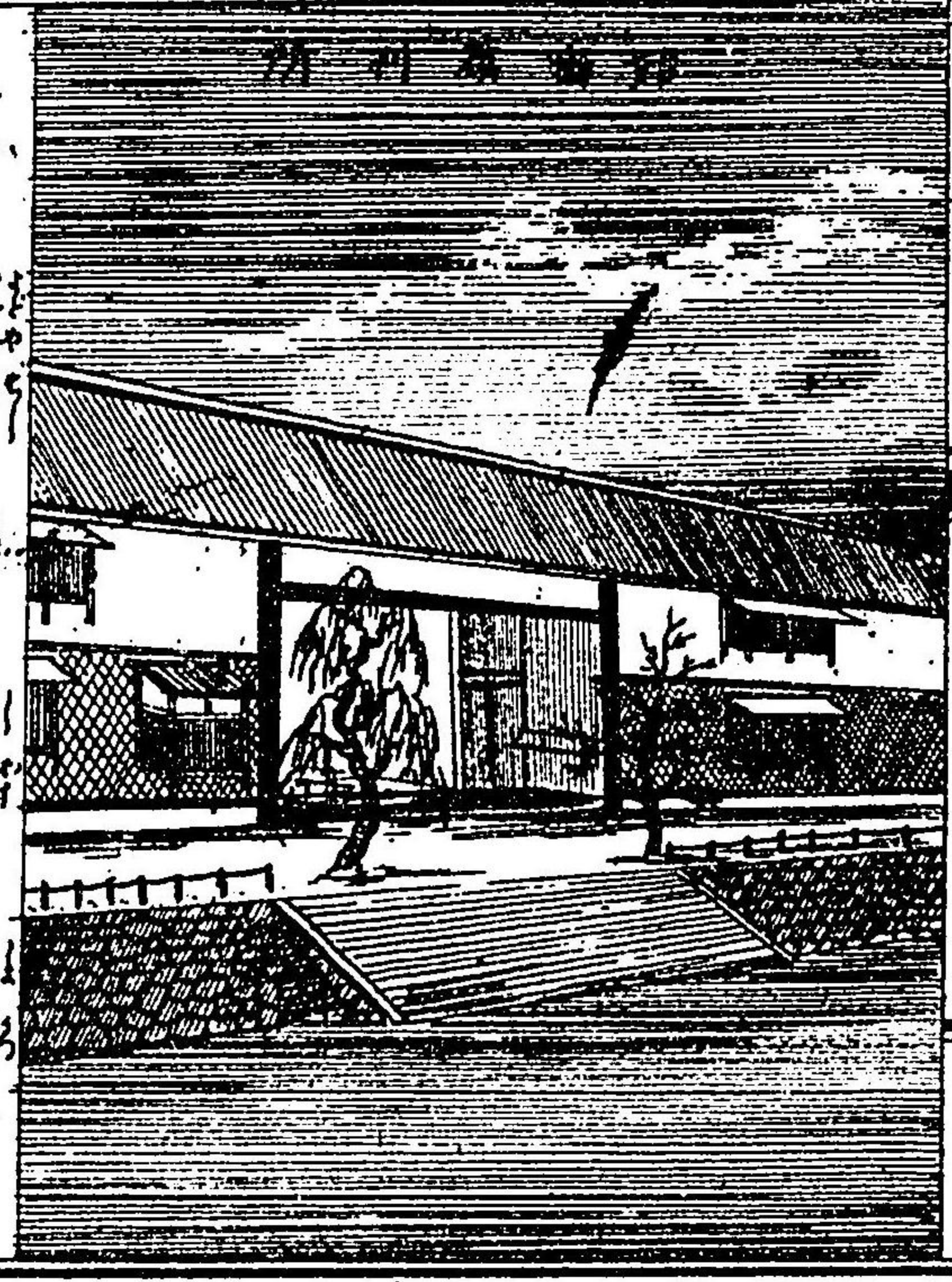


兼波橋

時中の島東端の地を向東へ突出し石垣を築
し石階を造り四季は草木を栽培公園の地と
成す此の長短の橋を架設し欄干所々瓦所
燈を建て及び舟の勝地とあり殊に夏は夕
涼を納涼を多し佳地なり衆人群を引
茶店も酒西の真瓜冷果餅橋上より迎り
洋名酒西の真瓜冷果餅橋上より迎り
列り有名は肉舗楼上に幾多は燈火を懸し観
物吹矢玉突圍籠店ハ所々並ぶ川中ハ
大橋船茶船使船を浮へて歌は聲喧しく
の光りハ白昼を欺き水陰に照り言話小
が

○豊國神社 兼波橋の正中に西に往く中に島
の地は北より祭神豊國大閤秀吉は靈神を
祀り明治十三年創建し神社とて社殿壯觀な
り例歳七月十八日

○明治紀念標 豊國神社に西に隣り維新の後
王師は為し戦歿せし官軍忠死の具を祭る
花崗石を以て宏大の標石を建つ
○大坂始審裁判所 右同所に西より中島



一丁目淀屋橋北詰に司法省の所轄する
府下人民の間小起し一切の訴訟を裁決する
公廳あり

○司藥場 裁判所の西中の島二丁目より内務省所轄する薬品の真偽良否検査業に試験をまゝ所なり

○室島 中津島の北より貞享年間開闢して市街とす元禄年間大江橋渡辺橋田箕橋玉江橋等を架す諸國輸入の米穀を纏綴市場となし米會社の建設し頭取肝煎の若此

小出張諸方の米商客と賣買をなす早晨より估客群集し互い小指頭を動搖し万石斛數を相對し其價の高下を定む終日其當り事鼎の沸騰如く此類は勢隆あり米市場の始ハ明歴年間土佐堀南岸淀屋橋の西小米商人集りて賣買をなすあり故小此旧例を以て今も毎年初市ハ淀屋橋南詰より

○淀屋橋 難波橋の西土佐堀川小架る昔此辺小淀屋巨巷と云へる豪商ありて豊臣氏の旗下一へ狼米運搬の役を勤し豊臣氏城へ後徳



淀屋橋

川氏諸候廻米を司り淀屋の家小産業旧の如
 去自宅濱より諸國よりの輸入廻米を賣買な
 り免許書は二代目淀屋与右工門に賜る年々
 米市盛大より一が三代目辰五郎に至り驕
 著し一て家關所と成り豊太間より巨額賜
 たり一々黄雞の絵画及び米商免許書等悉く
 没収せしむる淀屋絶家の後堂島の地小米市場
 を移轉して更に米賣買免許をとり此橋
 淀屋全盛は時中の島便利の為小架しが今
 其名のみ橋小遺せり

○豊川吐枳屋天 堂島船大工町より廿人豊
 川稻荷と云ふ豊川山泉福院と号し曹洞禪刹

○祀諸人多し例月二十日廿二日夜雨より

○北新地 堂島の北より曾根寄新地と云ふ
 蜷川の北岸蜷橋より緑橋迄の間を曾根寄新

地一丁目二丁目三丁目と云ふ席貸茶屋数多
 軒を連ね昼夜とも賑わい櫻橋の後より

演劇場絶なく興行し又有名の青樓多く南五
 花街とも劣らざる繁昌脚喧なり

○出入橋 曾根崎三丁目より上福島村小架る

近年汽車積荷物運送便利の為中の島堂島
 の地又停車場の地を新堀を鑿ちて橋を架
 せ石を以て造れば橋梁より他小類は
 ○停車場 西成郡曾根崎村より蜷川筋櫻橋
 の北より京都神戸の間へ往復する海軍發程
 の場所として構内小美麗な館舎を建設し園
 中四季に草木を栽植瓦斯燈を建て遠の
 旅客は出札場小集り紙券を求めんと前を穿
 そい晨は末明より夜は闇ふ及ぶ迄発着し賑
 しい類ひなり



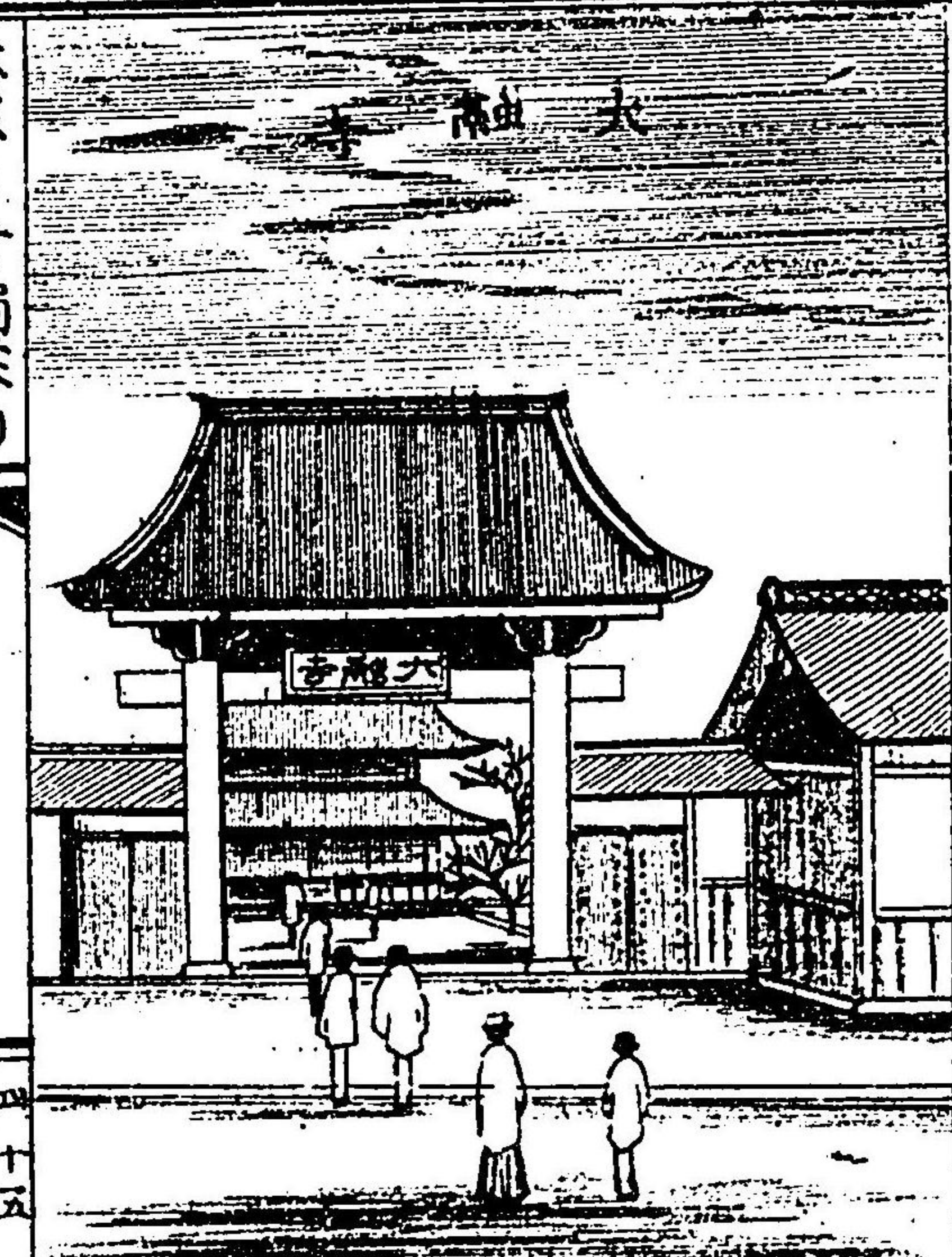
○お初天神 上同村ステーション東南小川
 本称露天神社所祭少名彦神菅原大神社格郷
 社して曾根寄村の産土神なる攝社ハ大國王
 神を祀り末社多し例祭ハ六月廿日九月十五
 日二十日十一月十三日ナリ昔社頭ハ梅雨井
 あり又世俗ハお初天神と称ふ事ハ元祿の
 頃北の新地天満屋某抱娼婦お初と云ふ者
 と平野屋徳兵衛といへる商人と此社境にて
 情死しるを称ふなり

○老松神社 お初天神ハ東南老松町三丁目
 所祭住吉大神稻荷神を例祭二月初午
 日六月三十日

○摩利支天堂 老松神社の西北より法華山
 善正寺と号し日蓮宗の梵刹小祀

○神明宮 摩利支堂の西より俗ハ北は神
 明と云ふ祭神天照大神なり世俗ハ松屋町神
 明を朝日と称し平野町神明を照日と称し當
 社を夕日と称す

○法清寺 神明宮の少西より新屋敷
 寺と云ふ日蓮宗光智山と号し女僧寺なり
 本堂ハ四條金吾の作日蓮大士朝日高祖像
 清正公感徳鬼子母神を安じ妙見祠妙法大二
 神あり當寺内ハ秋山自雲碑又藝岐の
 塚本具妙曉信女と彫是有が故に著名あり此
 刑小行をいさぐり今も劇場ハ其名残り
 寒山寺 法清寺の西北より松露峯と号し
 禪寺なり小堂ハ毘沙門天を祀る當山の梵鐘
 ハ頗る名鐘とて其音遠く響けり



此辺に梵刹連發り靈仙靈像院内に不尠と
 虽と悉く記し邊に故之を畧し男
 此地ハ北野村に村中むきど世俗ハ西天満
 寺町と称す

○大融寺 寒山寺の東北にあり掛木山と号し
 古義真言宗紀州高野山に属し弘仁年中弘法
 大師開基融大臣草創大伽藍の地なり後荒廢
 大門堂塔樓閣等は跡皆耕耘の地とむるや
 虽も今尚境内狭少むらむ本尊千手觀音春日
 の作嵯峨帝の御寄附を安ど勝土毘沙門地藏
 尊ハ弘法大師の作巡礼觀音堂愛染堂迦藍
 庚申堂釈迦堂一願不動尊地藏堂二王門等
 例年庚申の日不動縁日例月巳の日十八日
 等ハ賑はしく歩む者多し

○稻荷山圓頓寺 大融寺表門より一丁許西に
 あり此地稻荷社を祀りて稻荷山と稱し風景
 の勝地なり後年日蓮宗の梵宇を造立し旧の
 稻荷を鎮守とし寺内萩を多く栽り花盛なり
 美觀なり衆人集りて遊觀す
 ○細敷天神社 圓頓寺の北にあり祭神彦根命

菅原道真二座なり村社にて北野村の産土神
 とし菅公筑紫左遷の時福島に船を繋ぎて大
 融寺に詣りて玉へる時綱を丸く曲て其上に坐
 して愈いせ給ふ其綱今尚當村に存し社頭末
 社多し例祭一月廿日七月十五日九月廿四日
 十月十六日小あり

○東光院 下三番村にあり山と号し禪刹
 一室に新街道あり

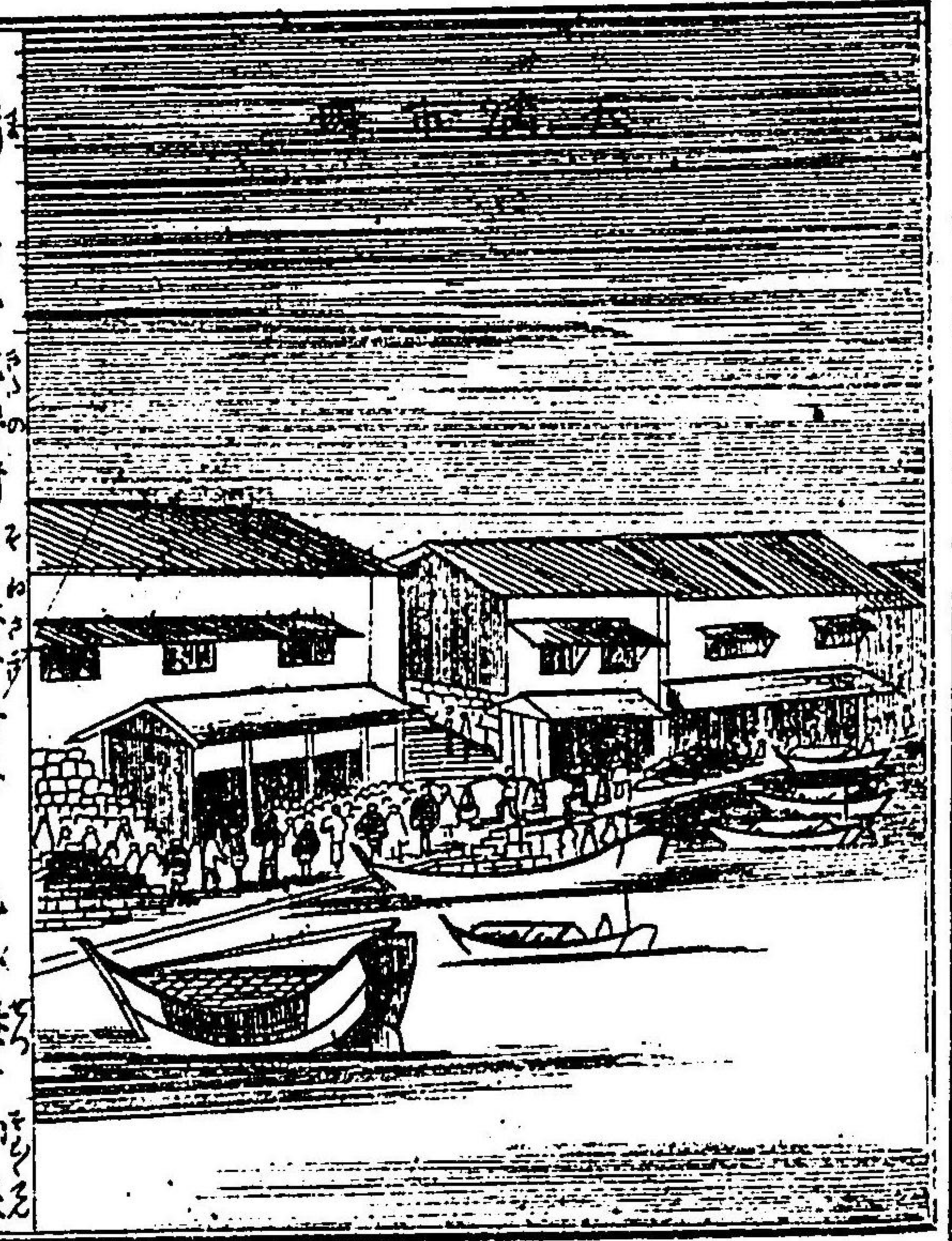


本堂観音厄除薬師乾闥婆神王を安んずる寺
 内、隠岐國頭無地藏相判小田原道了権現を
 遷し祀る庭中小款を多く栽へ花の盛りふい
 瀟々しく三番村菘と云ふ

○大日寺 東光院に隣る真言宗中臺山遍明院
 と号し草創年月詳らざるに中古後醍醐帝勅
 願して魏々たる諸堂ありて兵火に罹り後
 年再建なり本尊大日如来弘法大師の作観
 喜天堂地藏堂等あり又梅樹多く春は清香芬
 々しく美観なり

○源光寺 西成郡南濱村にあり清浄瑠璃山三
 昧院と号し淨土宗無本寺本尊天筆阿彌陀仏
 を安んず始行基三昧火坑を始る古跡にて側
 に建る古刹あり年を経て良忍上人中興し融
 通大念仏を弘通し一泊の本山とある

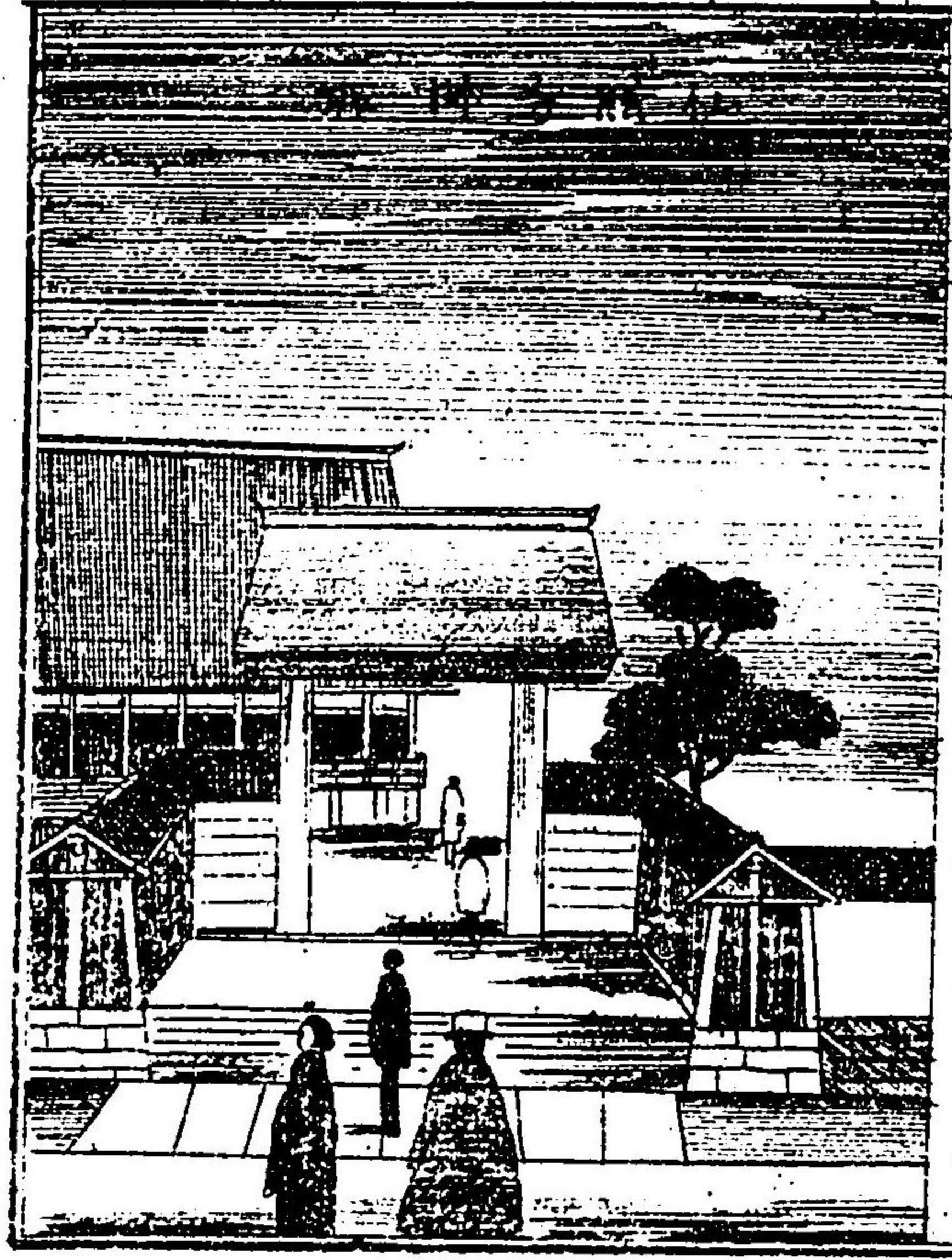
○堀川蛭子社 天満西堀川町堀川橋のほとこ
 在り祭神蛭子少彦名神天太主神あり例年一
 月十日十月廿日神祭ありて賑ひ
 ○天満 大川よと北堀川筋よと東を東天満と
 稱し西成郡川寄村に接し堀川よと西を西天



満と云ふ北野村皆根寄村等の地に接す抑天
 満地名の起りハ天満神社此地に鎮座あり
 以てなり上古ハ菟飯野又鬮野等の称あり
 て原野あり後年小至り北渡辺南中島の名あり
 其後元和平定の時天満郷市街とぬるされ
 ば民家疎らなり年々人家殖へ繁昌して今
 の如く殷賑の地といふるなり

○天満青物市場 大川筋天神橋北詰東五六丁
 の間ふあや菜蔬の間屋仲賣の家宅軒列し河
 岸ふい肆をつらね毎朝青物果実を賣買する

と元朝より冬極こに至りあるとなると四季の
 菜果さいくわを近國きんこく近在きんざいより持来もちきる者又ハ市中しちゆうの商
 人市いち小立こたてて購求こんぐせしめり其景況けいけい筆紙ひし小盡せうじん
 難がた旧此市場ふるこのいちばハ京橋南結きやうきやうなんむすハ有あり度安年中
 官地くわんちとより北結きたむす小移こうつりり其後そののち今此地いまこのちハ轉移てんうつり
 又市場またいちば北結きたむす街まちを市之町いちのまちと称なづけ鱒魚ます塩魚しほ乾
 物もの菰こも豆まめ爾雜菓子にらざかし杯はいの種たね々々を販うり買かひ人ひと群集ぐんしゆ
 して賑にぎハハ又天神橋あまたんじんばしより西にしの濱通はまどりを市之
 側がわと云いふ乾物かんぶつ昆布こんぷ物諸品ものしよひんを商あふ家建連けけん連れんめ
 ○興正寺掛所きやうせいじかけどころ 堀川ほりがわ樽屋橋東三丁すんぢやう許ゆるふり

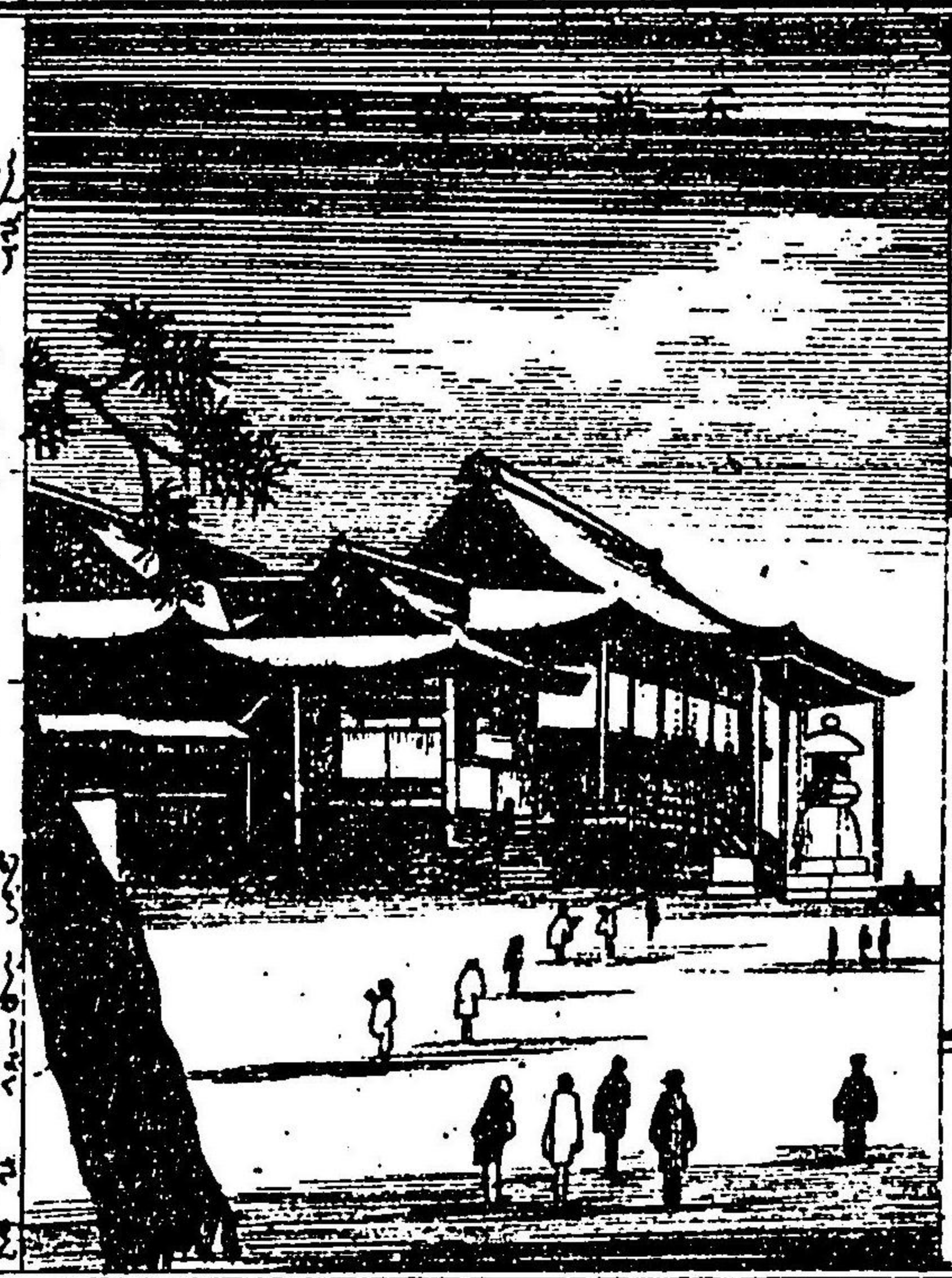


真宗京都本山興正寺の別院にて結構壯觀の
 梵宇ぼんうなり俗よこハ天満産寺てんまんさんじ又堀川御堂ほりがわごだうといふ
 ○佛照寺ぶつしやうじ掛所かけどころ 興正寺きやうせいじの北きたハ此こハ真宗京
 都本山みやこほんざん仏照寺ぶつしやうじの別院べつゐんにて俗よこハ天満御堂てんまんごだうと云
 ぶ境内けいん廣ひろく堂宇だうう壯觀すうくわんなり

○天満天神社てんまんてんじんしゃ 天満九丁目北てんまんくぢゆうめいききたの正當せいとうニハ祭
 神菅原道真かんげんみちまこと手力雄神てぢからおとこ蛭子神むしこがみ穰田彦むらたひこ神法かみほう性坊じやうぼう
 尊意そんい靈神れいじんを合祀がうしハ社格しゃかく府社ふしゃ社頭しゃとうハ大將軍だいしやうじん柱
 吉恵きちゑ比須ひす両大神りやうおほがみ官老くわんらう松紅梅しょうこうばい白太夫しろたふ八坂荒神やちばんあらいがみ
 等らり表大門うらひのあたハ美観みかんとして左右さゆうハ豊磐間戸ゆたひまんど
 櫛磐間戸しひまんどの二神ふたがみを祀まつり大鳥居おほとりいハ前の街中まへのみちハ

ハ此地このちハ旧都賀野ふるつがのと号なづけ右南中島みぎなななかしまと稱なづけて
 大將軍だいしやうじんと云いふ氏地うぢちハ天満堂てんまんどう島樂しまがく崎場さきば尚所なうじよ々
 小こハ一ひと万まん五千戸ごせんこ及およぶ二月廿五日にがつにじゅうごにち七月しちがつ廿
 四日にじゅうよにち五ご日にち夏祭なつまつりり十月じゅうがつ秋祭あきまつりり有あり何なにも賑にぎハハ
 社地しゃちハ茶店ちやてん貸食家かじけ菓子舗かしほを建設けんせつハ演劇えんげき講釈かうしゃく
 笑話せうわ音曲おんきやく輕口射けいこうしや的てき席せきなりて熱鬧ねつじやうハ共ともニ

○菅原山天満寺かんげんやまてんまんじ 天神社てんじんしゃより一町半ひとまちはん許ゆる北東きたとう
 一ひとハ宝珠院ほうしゆゐんと号なづけ真言宗まげんしゆ境内けいんハ天満宮てんまんみやを祀まつ



る神像七寸許當寺小菅公の伯父住職十左衛門の時暇乞ふに寄て物語ふ時移り庭前の石面
小水澗したる御影をうらむ

○清正公祠 天神橋筋西より妙福寺と号す日蓮宗の寺内より天願新しきと奉詣多

○夫婦橋 天神橋筋西の正北に架る旧此地の池より朝来池と称す後年其側小又一ツの池を掘て耕耘の用に池ニツ双ツの池以下果人女夫池と呼べり是も故有て天保年間禪はて卒

垣となし橋を架る旧名を用いて夫婦橋と稱し其池の跡に攝列能勢の妙見宮を觀講し是を夫婦池の妙見と稱し貴賤老若平生參詣

○天満橋の口木村堤 妙見祠の東淀川は西岸の堤小堀川を通ずる流水は極り堤上小櫻樹を栽列ね岸々小茶店連花盛りの頃ハ衆人此小集ふ川の東向うに櫻宮ふして兩岸俱小賑い此堤南端小東の岸へ通ふ舟渡り之を源八の渡りと云ふ



寺満鶴

○鶴満寺 極の口の北西長柄村にあり天台宗
 靈松山慈祥院と号す開基詳せず忍鏡上人
 延享年間中興善光寺本尊阿弥陀仏同体一光
 三尊地藏尊と云い本堂の傍に秩父阪東西國願
 礼長場の土を聚めを此に數百射観音堂を建
 鐘樓の鐘は長列毛利侯の寄附にして磨土の
 奇器なり又境内に無雙數株を栽へ花の比
 茶店を設け衆人花を賞へ來る者多し
 ○國分寺 鶴満寺の北國分寺村あり真言宗
 正國山と稱す聖武天皇御宇日本國中國毎に
 建立ありし其一つを行基僧正は開基なり
 皇霜を歴て瘵類を代快因比丘中央に本尊
 阿弥陀仏聖徳太子の作を安じ萩多く花盛り
 艶麗しく美観なり
 ○中津川 長柄村に北に流る浚川第二の分流に
 して一名長柄川と稱す下流四貫島春日新田
 の辺りに至りて海に入る

三府名所獨案内圖會卷之四終

明治十六年四月廿三日出板御届
 同 年十月 刺成

定價金貳拾五錢

編輯人 京都府平民 馬場 文 英

上京區第十一組松之本町
 六百五十二番地

出板人 京都府平民 細川 清 助

上京區第三十組下本能寺前
 町五十三番戸

發賣人 三條通り小橋東へ入
 江南有美堂

